

Part 1 基本情報

1. ドミニカ共和国プロフィール

- | | |
|------------|--|
| (1) 正式名称 | (和文)ドミニカ共和国
(英文)Dominican Republic |
| (2) 政体 | 立憲共和制 |
| (3) 首都 | サントドミンゴ |
| (4) 面積 | 4万8442平方km |
| (5) 人口 | 約975万人(2007年:世界銀行) |
| (6) 民族 | アフリカ系と欧州系の混血(73%)、欧州系(16%)、アフリカ系(11%) |
| (7) 言語 | スペイン語(公用語) |
| (8) 宗教 | カトリック 64.3%、プロテスタント9.1%、アドバンティスト 1.3%、その他1.2%、
無信仰22.80% |
| (9) 主要産業 | 観光、農業(砂糖、コーヒー、カカオ)、鉱業(フェロニッケル等)、軽工業(フリーゾーンにおける繊維、縫製業) |
| (10) GDP | GDP 367億米ドル(3,550米ドル/人)(2007年:世界銀行) |
| (11) 議会 | 二院制(上院32名、外院178名)、任期4年 |
| (12) 気候 | 亜熱帯性海洋気候で貿易風が吹き、暑気はしのぎやすい。雨季(5~7月、10~12月)と乾季があり、雨季には熱帯性低気圧やハリケーンの来襲がある。 |
| (13) 在留日本人 | 821人(2009年10月1日 日本大使館データ) |
| (14) 略史 | 1492年コロンブスがイスパニョーラ島到達。1697年同島西側がフランス領となる。1795年全島がフランス領となる。1804年ハイチとして仏より独立。その後、1809年ドミニカ共和国が独立。1814年東側はスペイン領となる(パリ条約)。1821年ハイチ軍による占領。1844年独立回復。1916年~1924年米国による軍事占領。1930~61年トルヒーリョ将軍による独裁。1961~65年の内乱を経て1966年パラゲル大統領就任。政情安定。1996年にドミニカ開放党のフェルナンデス大統領が就任。2000年に革命党のメヒア大統領に一期譲るも、2004年フェルナンデス大統領が再任。2008年に同大統領は第3期政権を発足。(任期は2012年迄。) |

[参考]

「外務省ホームページ-各国・地域情勢」外務省

2. 業務のための基礎データ

(1) JICA事務所の概要(ドミニカ共和国事務所)

住所 : Avenida Sarasota No.20, Torre Empresarial AIRD, 7mo. Piso, La Julia,
Santo Domingo, República Dominicana

連絡先 : 国番号 : 1(北米地域と同番号)

市外局番 : 809(全地域)、809、829、849(携帯電話の市外局番は3つ)

電話 : +1-809-381-0005(代表) FAX : +1-809-381-0048

URL : <http://www.jica.go.jp/dominicanrep/index.html>

執務時間 : 9:00 ~ 17:30(昼休み13:00 ~ 14:30)

休日 : 下記祝日と土曜日、日曜日。

1月1日	元旦
1月4日	キリスト公現日 (1月6日の振替)
1月21日	アルタグラシア聖母の日
1月25日	ドゥアルテ生誕記念日
2月11日	建国記念日(日本の休日)
3月22日	春分の日(日本の休日)
4月2日	聖金曜日
5月3日	憲法記念日(日本の休日)
5月4日	みどりの日(日本の休日)
5月5日	こどもの日*日本の休日)
5月17日	大統領選挙(文化の日の代休)
6月3日	コルプス・クリスティ
8月16日	復興記念日
9月24日	メルセデス聖母の日
10月11日	体育の日 (日本の休日)
12月29日 ~ 31日	年末休暇

(2010年)

(2) JICA事務所周辺地図



事務所までの交通 : 【空港から】

空港からはタクシーを利用する。到着した後、出口を出るとタクシーが待っている。空港と市内の料金は固定料金で片道45米ドル程度(1,500Dペソ/ドミニカ共和国ペソ)だが、念のため、金額を最初に確認すること。

事務所に行く場合には、「Lincoln通りの近くのSarasota通り20番地のTorre Empresarial」(アベニダ サラソタ ベインテ、トレ エンプレサリアル プロキシモ アラ リンコン)へ行くよう伝える。

【空港以外から】

安全上の理由から、無線タクシーまたはホテル待機タクシーの利用を勧める。
料金はサントドミンゴ市内で、無線タクシー150Dペソ程度、ホテルタクシー200Dペソ程度だが、メーターがないので、料金の確認を乗車前にすること。

(無線タクシー電話番号:Apoloタクシー:809-537-0000、Zonaタクシー:809-333-9999)

(3)日本との時差、
サマータイム

日本との時差 :-13時間
サマータイム :実施していない。

(4)祝日、官公庁の休日 祝日 :

1月1日	元旦
1月6日	キリスト公現日
1月21日	アルタグラシア聖母の日
1月26日	ドゥアルテ生誕記念日
2月27日	独立記念日
4月2日	聖金曜日 (セマナ・サンタ)
5月1日	メーデー
6月3日	コルプス・クリスティ
8月16日	共和国再興日
9月24日	メルセデス聖母の日
11月6日	憲法記念日
12月25日	クリスマス

(2010年)

官公庁の休日 :上記祝日と土曜日、日曜日。

(5)ビジネスアワー

官庁 7:00 ~ 14:30(省庁や担当職務により異なるので注意が必要。土日休み)
銀行 8:00 ~ 15:00(ショッピングセンター内などにある支店は平日9:00 ~ 19:00
まで、土曜日の午後や日曜日の午前も営業している)
商店 9:00 ~ 18:00(店によって異なる。日曜日はほとんどの店が休業)

(6)言語

業務 :一般的な業務はスペイン語が基本となる。英語は通用しないことが多い。
ホテル、買い物、食事 :外国人観光客の多い所で英語が通用する場合がある。

(7)通貨

ドミニカ共和国ペソ(RD\$, 本情報では「Dペソ」と記載する)
(1ペソ = 100センターボ;ただし、センターボ硬貨は流通していない。当国商習慣により現金取引の場合、センターボを四捨五入処理するのが一般的である。)

- (8)通貨レート 為替レート :1米ドル 36.50ペソ、1ペソ 2.4円 (2010年8月現在)
- (9)関係機関
- 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館
- 住所 :Av. Winston Churchill, #1099Torre Citigroup, Piso 21, Acropolis Center, Ensanche Piantini, Santo Domingo (P. O. BOX 9825)
- 電話: (809) 567-3365 Fax: (809) 566-8013 <http://www.do.emb-japan.go.jp/>
- 在ドミニカ共和国大使館は、在ハイチ大使館を兼轄する。
- 【ドミニカ共和国の関係官公庁】
- 経済企画開発省 Ministerio de Economía, Planificación y Desarrollo (MEPyD), Edificios Gubernamentales Av. México, Bloque B, 2do. Piso.
- TEL. 809-688-7000
- (10)有用サイト
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)
- <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)
- <http://www.presidencia.gob.do/app/frontpage.aspx> (ド国大統領府ホームページ)
- <http://www.listin.com.do/> (主要紙 Listin Diarioのホームページ)

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICAドミニカ共和国事務所のあるサントドミンゴの情報を中心に掲載しています。

JICA事務所 周辺地図 スーパーマーケット 大手銀行 ショッピングモール ファーストフード ホテル



1. ホテル、住宅

1-1 ホテル



Yellow Page

日本人が利用する主なホテルは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。いずれのホテルも赴任当初の利用が可能であり、アパートメントホテルは長期利用も可能である。支払いはVISA、MasterCardなどのクレジットカードでも可能。

<ホテル>

- ・ Santo Domingo
- ・ El Embajador
- ・ Renaissance Jaragua
- ・ BQ Hotel
- ・ Clarion
- ・ Hispaniola

< アパートメントホテル >

- ・ Florida Suites
- ・ Apart-Hotel Atalaya
- ・ Residencial Alvear

1-2 住宅事情

新市街のほうが旧市街に比べて治安、環境ともによく、関係者が住んでいるのはサントドミンゴ市内の新市街地の街を東西に走るAve. Kennedy以南、Independencia以北の地域である。治安は比較的よいが、空き巣、強盗に入られる可能性もあり、実際、被害も生じているので、防犯が困難な一戸建てよりアパートを借りるほうが望ましい。家賃は常に値上がり傾向であるが、交渉次第では安くなる場合もある。

下宿(間借り)はアパートの1部屋だけを貸すことが多く、炊事場、トイレ、シャワーは共用が多い。

家賃は、部屋数に加え、家具の質や量によってもかなり異なり、駐車場、ガレージや自家発電機の有無によっても差がでる。ドミニカは停電が頻発するので発電装置を所有している物件が好ましい。

2010年8月現在、居間、食堂、台所、洗濯場、使用人部屋各1、浴室2、寝室3室程度の家具付きでは1000～1500米ドル(ほかに入居時敷金1～2カ月)、トイレ・シャワーを家主と共同で使う下宿(食事なし)は8,000～10,000Dペソ程度が相場である。

1-3 住宅の探し方

新聞広告で適当な物件を選び、電話連絡してから下見する方法と、不動産会社や個人のエージェントを利用して相手の車に同乗して見て回る方法が一般的である。関係者がよく利用するエージェントは英語を解し、退去時までフォローする。日系人から借りている関係者もいる。

契約成立時には、エージェントは一般に貸主から1カ月分家賃の手数料を取るが、契約書作成代(弁護士による作成料)も含め、事前に条件を必ず確認すること。エージェントは次のとおり。

- ・ Sra. Miryan Tillan (809)540-5237
- ・ Sra. Elizabeth Báez (809)541-3414
- ・ Sra. Maritza Penzo de Achecar (809)563-8623
- ・ Sra. Eiko Kokubun (809)689-8993
- ・ Srta. Kenia Sánchez (809)599-0349

1-4 住宅選定上の留意点

防犯、停電対策、給水設備などがポイントである。

独立家屋の場合、塀、窓に鉄格子があることが絶対条件である。アパートの場合、建物玄関の出入口にガードマンがいるか、または施錠されていないとしない。JICA関係者には1・2階と最上階は避けるようにアドバイスしている。

改善されつつあるが、電力は常時全国的に不足している。首都でも数時間連続で停電することが少なくない。地方によってはさらに悪い場合が多い。したがって、建物全戸にいきわたる容量の共用発電機を備えたアパートが望ましい。各家庭で発電機を備えるのは維持管理が容易ではなく、勧められない。インペルソールと呼ばれる無停電装置(多数のバッテリー+交流変換装置)を各戸に備え付ける方法もある。若干高価ではあるが発電機のような騒音がなく便利である。バッテリーはメンテナンスを要し、寿命は約2年である。地区によって停電の頻度が異なるので、同アパート居住者や近隣住民に停電の頻度と対策設備の有無、稼働状況などを必ず確認すること。たとえ発電機を備えていても、維持費を節約するため運転制限をしているところもあるので事前に十分な確認が必要である。

停電の際は揚水ポンプも止まるため、非常用発電機によるポンプ運転、あるいは屋上貯水タンクがないと水に不自由することになる。また、省エネのため夜間は揚水ポンプを止め、給水を停止するアパートもあるので注意を要する。水道はもともと給水圧が低い上、渇水期には元栓を締めて水量を調整するので、末端にいくほど水の出が悪くなることも考慮に入れること。また、一戸建てほど水の出が悪いところが多い。

風向きは季節または日中・夜間によって異なるが、おおむね一年を通して南北方向(海側からの風)に吹くため、窓が南北面についている部屋を選ぶとよい。

夏季にはハリケーンが通過することがあるので、屋根はすべてコンクリートの陸屋根(平構造)である。したがって、最上階の部屋は昼夜間とも蓄熱のため暑いので極力避けたほうがよい。また屋上から泥棒に侵入されたケースもある。その一方、3階ぐらいまでは蚊に悩まされることがある。

非常階段が設置されていない建物では、火災発生を想定して階下が望ましい。

窓枠取付型(室外機一体型)クーラーは稼働時の騒音が大きい。窓の対面に隣人のクーラーがついているところは極力避けること。

家具付き物件の場合、家具の自然劣化、故障、使用不能などに対する責任は家主にある旨を契約時に明確にする必要がある。電化製品、家具などが老朽化した家は、あとでトラブルが発生しやすいので注意すること。

駐車場の有無も確認すること。屋根付きガレージであれば車の傷みは少ない。

電話も安全対策上必須である。新規敷設には時間がかかるので、すでに使用可能(家主名義のまま使用)なところを選ぶこと。また、前入居者が電話、電気、ケーブルテレビなどの精算を終えていることを家主に確認すること。

サントドミンゴ自治大学周辺では、学生による紛争対策に警察側が使用する催涙ガスが風に乗ってきたり、道路封鎖があったりするので注意すること。

1-5 住宅の契約

通常、契約は1年間である。その後は両者に異存がなければ自動更新されるのがふつうである。契約書は通常、家主またはエージェン트가用意する。必要に応じて双方合意のもとに条件を修正する。極端に厳重な契約を要求する家主は、解約時にトラブルが起きる可能性が高いため避けたほうがよい。

通常、家賃は1カ月分前払いである。入居時の敷金は通常2カ月分を要求されるため、赴任時に用意しておくといよい。敷金は解約時に戻されるが、家具の破損や壁を汚した場合は敷金から差し引かれる。まれに礼金を要求される場合もある。これらの条件は交渉時に十分確認することが必要である。

入居時に大家が提供する物品リストに磨耗状態をメモしておくといよい。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

アパートでは水道、ガス、ゴミは集中管理方式であり、家賃とは別に共益費を支払うケースが多い。

電話、ケーブルテレビなどは、家主からの名義変更が必要か否かを確認の上、契約すること。できれば家主名義のまま借り受けるのが望ましく、家主が執拗に名義変更を迫る場合は慎重に考慮するべきである。

電気も家主名義のままが望ましいが、新規契約が必要な場合は電力会社と契約し、メーターを取り付けてもらう。新設時には敷金を請求される。料金の支払いは1カ月後で、使用量を明記した請求書が自宅に届けられる。1日でも滞納すると電気を切られる場合があるので注意すること。

停電後に再び通電するときは高電圧(サージ)のため電球が切れやすい。これには電球ソケット取り付け型の蛍光管にするなどの対策が有効である。若干高価(300~500Dペソ)ではあるが明るく、消費電力も少ない。ホームセンターなどで容易に入手できる。

ボンベ(シリンダー)式のガスの場合、まずボンベを入手する必要がある。空になったら取り扱い会社に連絡してボンベを持ち帰ってもらい、充填してから配達してもらう。信頼できる会社を家主に紹介してもらうのがよい。ガスホース、締め付け金具、接続などには十分注意し、古いホース、金具やボンベの底部の劣化がある場合は、新しい物に交換すること。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は110V、周波数は60Hzである。日本の電化製品をそのまま使用できるが、電圧が一定してないため、スタビライザーを使用するといよい。

(2) コンセント、モジュラージャックの形

コンセントは日本と同じであるため、持参したものがそのまま使用できる。

モジュラージャックの形も、日本で使われているものと同じである。

(3) 家電製品

アメリカ、韓国、中国製が主である。オーディオ機器をはじめ、細かいことにこだわらなければほとんどなんでも入手できる。なお、冷蔵庫、テレビ、洗濯機、電子レンジ、クーラーなどは、家具付きアパートであれば備え付けられている場合がほとんどである。

1-8 家具保険

一般に火災、盗難などの災害保険には家主および借り手とも加入していない。万一の場合の責任について、契約時に家主と相談の上明確にしておく必要がある。

1-9 その他

停電対策として、ろうそくや懐中電灯は、現地到着後速やかに準備すること。また、年間を通して虫除け(蚊)対策も必要である。一般的ではないが、網戸の設置が望ましい。また、虫除けスプレー、蚊取り線香、「ベープマット」などは日本製より品質は劣るが現地で入手可能である。

掃除機などは現地で購入できるので持参する必要はないが、ドミニカの住宅は床がタイル材なので、ホウキで掃いてモップがけするのが通常である。

2. 衣料、理容



2-1 衣料全般

(1) 一般事情

亜熱帯地域に属するドミニカは、年間を通じて最高気温摂氏30度前後、最低気温23度前後である。5～10月は雨量が多く、短時間に集中的に降ることが多い。また、一日の寒暖の差は月気温の寒暖の差と同じ程度で、気温が最も低い朝はさわやかである(ウォーキングをする人も多い)。一方、高原のコンスタンサでは冬季(11～4月)は最低気温が10度以下に下がることもある。

現地の人には長ズボンに長袖が一般的で、暑くても短パンなどのカジュアルな服装はしない。観劇やパーティーなどでは必ずドレスアップをし、公式行事ではきちんとスーツを着る。TPOに留意すること。

衣料品の品質や価格はさまざまである。アメリカ、フランス、イギリス、スペイン、中国、ブラジル、メキシコ、ベネズエラ製等があり、日常の衣料には困らない。また、Nautica、Guess、Liz Claiborne、Benetton、Ralph Lauren、Tommy Hilfiger、Lacoste、Levi's、Calvin Klein、Zara、Mango など日本でもなじみのあるブランド店もある。良質のものは日本より高価な場合が多いが、バーゲン時期であれば、より安価で購入できる。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

基本的には夏物を中心に用意すればよいが、室内(スーパー、レストラン、劇

場等)や、長距離バスは冷房が強く、カーディガンやジャケットなどを持参する必要がある。冬季の山間部(コンスタンサ、ハラバコアなど)ではセーターや暖房が必要になるため、旅行用に保温性のよいものを若干持参するとよい。また、一時帰国などの際に経由地アメリカや日本到着時の気温を考慮し、秋冬物を持参するほうが良い。

男性の場合、各種ワイシャツ、Tシャツ、ランニングシャツ、トランクス(パンツ)、背広(ダークスーツ、平服各1)、ジャンパー、カーディガン、綿の靴下、全て入手可能であるが、日本製のほうが持ちはよく、品質も高い。

女性は、必要に応じて訪問用洋服、Tシャツ、各種下着類、水着等が挙げられるが、いずれも現地で簡単に入手可能である。特にフォーマルドレスやアクセサリ類などは日本より安価で豊富にあることから、必ずしも持参する必要はない。当国では、イヤリングはピアス式が殆どで、クリップ式のもの入手しにくい。男女用ともに日本的な衣服(着物、浴衣、羽織、甚平、ステテコ等)は入手不可能である。

子供・乳幼児用品はこちらでも入手可能であるが、良質の製品は輸入品のため日本より高価である。靴は革靴、ヒール、パンプス、スポーツシューズ、サンダル等いずれも入手可能である。

なお、日本語学校が中心になって、毎年盆踊り大会を開催することもあり、浴衣、下駄などを持参すれば楽しめる。日本手拭い、ナイロン製タオル、日傘、扇子等は持参した方がよい。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

普段着、下着、帽子(野球帽タイプ)、靴下、靴、スニーカー、サンダル、フォーマルドレスなど。

(4) その他の留意点

ドミニカ人は服装・ヘアスタイル、そして身につけるものに大変気を配る。TPOに適した身だしなみが不可欠。公衆の場では男性は長袖・長ズボンが一般的。リゾート地以外ではTシャツ・短パンは着用しない。女性も、タンクトップやショートスカートや短パンだと入室を断られる場合もある。有名レストランなどはジーパンお断りというところもある。男性は、仕事やパーティーなどに、グァジャベラ(Guayabera)、あるいはチャカバーナ(Chacabana)といわれるシャツをごくたまに着用することがある。外国人が着用しても支障ない。

2-2 礼装

(1) パーティー

日本からの調査団などのレセプションや返礼パーティーなど公的なものと、私的なカクテルパーティーやディナーパーティーなどがある。

男性には、招待状にダークスーツ(Traje Oscuro)、平服(Traje de Calle)、簡易正装(Guayabera、Traje formal)、軽装(Informal)の区分がある。

Traje Oscuroはかなりフォーマルな場合である。同伴者はこれに合わせてカクテルドレスにする。

Traje de Calleの場合はダークスーツやあまりフォーマルでない服装でもよい。Guayaberaは正装には長袖を使うことが多い。

Traje formalではワイシャツ、ネクタイ着用のダーク、チャコールグレーなどスーツが適当である。女性はドレスリーなワンピース、スーツや訪問着程度でよい。

(2) 式典

大使公邸における新年祝賀会や天皇誕生日祝賀会のほか、配属機関における式典があり、招待される機会がある。

男性はスーツ、ネクタイ、女性はスーツ、ワンピースなどが望ましい。

(3) 冠婚葬祭

総じて冠婚葬祭では日本と同様、黒系統を着用する。

結婚式の場合、スタイルや色に特に決まりはないが白を着用するのはタブー。

葬儀では明るい色を避け、女性は黒のスーツかワンピース、黒のスカート、白いブラウスにネックレス(パールなど)のスタイルが多く、肌を見せずあまり華美でない長袖を着るのが慣習である。男性は冠婚葬祭用ネクタイを持参すると便利である。

(4) その他の留意点

ドミニカ人はパーティーなどの特別な機会だけでなく、日常でも服装にかなり気を遣う。服装で店員の接客への態度ががらりと変わることも多い。暑い国だからといって、通勤着も含め、簡素な服装になり過ぎないように注意が必要である。

日系人社会では日本の慣習がそのまま残っているため、祝儀、不祝儀袋を持参したほうがよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

ほとんどの家具付きアパートには洗濯機がついており(場合によっては乾燥機も)、それらは主にアメリカ、韓国(2槽式)、ブラジル、中国製が主である。日本メーカーの製品も国内で販売されているが、割高である。

アパートによっては水質が悪いため、洗濯を繰り返すうちに生地の色が悪くなることもある。

クリーニング店(Lavanderia)は多数あり、ドライクリーニング、じゅうたんのクリーニングも行う。宿泊者以外にもランドリーサービスを受け付けるホテルもあり大変便利である。自宅、事務所に集配に来るクリーニング店もある。

クリーニング店には次のものがある(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Lavandería New York
- ・Royal Lavanderia
- ・Lavanderia Pressto

・Lavaseco

(2) 仕立て、修繕

生地を購入して仕立てることができる。店によって技術に格差があるため、よい店を選択すること。仕立代は日本に比べれば若干安い。

(3) 保管

特に湿気に留意すること。クローゼットや洋服ダンスは時折、風を通すなどの工夫を要する。除湿剤はスーパーで入手可能である。放置しておくと衣類や靴がカビだらけになることがあるので注意。

2-4 美容院、理髪店

美容院は多く、マニキュアやブローのみの利用も非常に多い。カット、シャンプーで500～1500Dペソ、パーマは1500～4000Dペソと料金はまちまちである。どの店でもチップは必要。

日本人が利用する主な美容院には次の6軒がある

(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Mi Salon(日高美容院)
- ・Peluqueria Japonesa(広光美容院)
- ・JAG Peluquero(少し高め)
- ・Llongueras Internacional(割高)
- ・Hermanas Dueños(割高)

また、Jugueton(所在地:C/Francisco Prats Ramires esq. Manuel de Jesus Troncoso)の2階に子供用美容院がある。理髪店も多数あり、整髪のみなら10～15分で完了し、値段は300～700Dペソである。洗髪・ひげ剃りを希望する場合には別に依頼する。

美容・理髪用品については外国製が豊富にあるので、現地での調達は十分可能である。一般に香りや刺激が強いので、必要に応じて持参することを勧める。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

アメリカほど徹底していないが、少額を渡す習慣がある。

(2) 各種サービスに対するチップ

レストランは請求書には既に10%のサービス料が加算されているが、それに5～10%ほどさらに置くのが慣習である。その他に美容院でもシャンプー、カットなど担当者ごとにレストラン同様、チップを支払うのが常になっている。また、ファーストフードやクリーニングなどの宅配人、レストランやショッピングセンター駐車場ガードマン、スーパー店員(荷物を車まで運んでくれる)には20Dペソ程度を支払うのが一般的になっている。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

フランス料理、イタリア料理、スペイン料理、中華料理、メキシコ料理、ステーキハウスなど各種多数あり、エビを中心に海鮮料理も食べられる。ハンバーガーやピザなど、日本でもなじみの名前のファーストフード店、カフェテリアなどもあるが、地元の人々は自宅で食事するのが基本であり、外食となればテーブルクロスのあるきちんとしたレストランに行くのが一般的である。よって手ごろな料金で楽しめる店は少ない。

ファーストフードなどは日本より高く、レストランの値段は日本並みである。16%の付加価値税 (ITBIS) と10%のサービス料が別に請求される。さらにチップを置くのが一般的。その際は代金の5～10%程度が目安である。

(2) 飲食店

夕食は19:00ごろからの営業(ただし中国レストランは少し早く18:00ごろから)。来客が本格化するのは21:00以降で、22:00ごろがピークである。

Yellow Page 日本人が利用する主な店は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

< 日本料理 >

- ・Samurai
- ・Aka Sushi Bar
- ・Kioto (京都)
- ・安岡食堂

< 中国料理 >

- ・Chino de Mariscos (中国海鮮楼)
- ・Pan Oliva
- ・Bella Cristal
- ・Palacio de Jade

< 韓国料理 >

- ・Restaurante Seoul
- ・Restaurante Coreano Magna

< イタリア料理 >

- ・Vesuvio
- ・La Briciola
- ・Cappuccino
- ・Punto Italia

< インターナショナル >

- ・Meson de la Cava (洞窟レストラン)
- ・Taboo Bamboo
- ・Scherezade

< スペイン料理 >

- ・Boga Boga
- ・Museo del Jamón
- ・Reina de Espana
- ・Mesón Cienfuegos

< ドミニカ料理 >

- ・El Conuco
- ・Adrian Tropical

< ステーキ >

- ・David Crockett
- ・Outback Steak House
- ・Fry and Grill
- ・Tony's Roma

< シーフード >

- ・Sully

4-2 食料

(1) 一般事情

魚介類に関しては、近海によい漁場が少ないことや、流通システムが未整備なため、量、種類ともに少ない。野菜、肉、卵などの生鮮食料品はヨーロッパなどからの輸入品も含めてスーパーにかなり出回っている。瓶・缶詰などの加工食品も豊富。

日本食品は一部の店で限定的ではあるが入手可能である。また、日本人移住者から野菜、豆腐、納豆、こんにゃく等が入手できることもあるため、工夫すれば和食を楽しむことは可能である。

冷凍食品はコールド・チェーン・システムが整っていないこと、停電が日常化していることにより、一部解凍と冷凍を繰り返している可能性もあるので、鮮度には十分に注意を払う必要がある。また、卵は生では食べないほうがよい。

大手スーパーは日本と変わらない清潔さであり、惣菜なども販売している。

(2) 主な食品の出回り状況

< 主食 >

米は粘り気のない長粒米が主流であるが、中華雑貨店ではカリフォルニア米 (Nishiki, Kokuho Rose, Miyako) が入手可能である。また、日本人移住者により日本米、もち米、小豆、大豆も作られている。

ほかにプラタノ(食用バナナ)、キャッサバ(ドミニカではユカと呼ばれている)がドミニカの主食である。食パン、シリアルなどは各種スーパーで入手できるほか、専門店ではフランスパン、クロワッサンなども売られている。

< 肉類 >

ドミニカでよく食べられる鶏、牛をはじめ、豚、ヤギ、ウサギなどの肉、ソーセージが入手できる。輸入肉専門店では、すき焼き、焼肉用の薄切りにも対応する。

< 野菜 >

輸入物も含めて、ホウレンソウ、カボチャ、キュウリ、ニンジン、ピーマン、ブロッコリー、レタス、キャベツ、ナス、トマト、ネギ、インゲン、アスパラガス、ジャガイモ、タマネギ、ニンニク、アボカドなど一般的な野菜がスーパーで入手できる。日本・韓国・中国系移住者が白菜、大根、もやし、長ネギ、ワケギ、ニラ、チンゲンサイを生産しており、季節に応じて出回る。きのこ類も販売されているが、日本より高め。

< 果物 >

スイカ、メロン、オレンジ、グレープフルーツ、パイナップル、マンゴー、パパイア、リンゴ、イチゴ、ブドウ、レモンそのほか亜熱帯特産の果物が季節に応じて豊富に出回る。

< 乳製品 >

牛乳をはじめバター、チーズ、ヨーグルト、アイスクリームなど、ほとんどの製品がある。

< 魚類 >

出回っている種類は日本に比較すればかなり少なく、肉類に比べて高い。タイ、サケの切り身、イカ、タコ、エビ(むき身もある)、ロブスター、ムール貝などのほか、輸入サーモンや干しニシンなどがスーパーで入手可能である。ただし、鮮度には注意すること。また、白身魚の場合、神経の病気を引き起こすシガテラに感染している場合もあるので5月～8月は避けた方がよい。

< 調味料など >

各種調味料が容易に入手できる。食用油として野菜油、大豆油、オリーブ油、ひまわり油がある。スパイスやハーブも豊富に手に入る。

< 嗜好品 >

コーヒーが特産である。紅茶、ハーブ茶はスーパーで入手できる。中国茶(ウーロン、ジャスミン、緑茶)などもある。日本茶は中国食材店で入手できる。ドミニカは葉巻の輸出国でその品質評価は高い。

< 酒類 >

国産ビール(Presidente)をはじめ、ウイスキー、ワインなど外国製が豊富に販売されている。国産のロン(ラム酒:サトウキビから作られた蒸留酒)は安価である。日本酒も大衆銘柄であれば一部大型スーパーや中国人経営の雑貨店で入手できる。

< 飲料水 >

水道水は直接飲料に適さない。市内各所にある食料品雑貨店(Colmado / コルマド)で5ガロン入りプラスチック容器に入った飲料水(Botellonと呼ばれ、

40-50Dペソ程度)が入手でき、配達が可能である。または、アパートで一発購入して注文に応じて配置してくれる所もあるので、入居時に確認のこと。外国製ミネラルウォーターも様々な種類があり、どこでも購入できる。

(3) 食料の入手

大手スーパーは平日朝8:00から22:00まで、日曜は14:00まで営業しているが、最近では日曜・祝日にも営業する店舗が徐々に増加している。また、ガソリンスタンド併設のコンビニエンスストアは24時間営業している。首都に限らず国内至るところに見られる食料品雑貨店(Colmado)では食料品から雑貨まで多種に販売しており、店によっては卵1個やケチャップ1さじなど少量でも買うことができる。

Yellow Page 主な食料品店には以下のものがある(詳細はPart3イエローページを参照)。

< スーパーマーケット >

- ・Nacional
- ・Pola
- ・Plaza Lama
- ・Carrefour
- ・Las Estrellas
- ・Bravo
- ・Jumbo
- ・La Cadena

< 精肉 >

- ・Gourmet Demetrio
- ・Nello's

< 鮮魚 >

- ・Pescayama

< パン、ケーキ >

- ・France Croissant
- ・La Baguette
- ・Lulin(旧名称:Amushin 阿母心)
- ・Repastería Sakura
- ・Panavi
- ・Pasteleria del Jardin
- ・Elysée

< 日本食品 >

日本食品専門店はないが、下記の店である程度の日本食品や中国食品などが購入可能である。ただし、品切れや賞味期限切れがあること、種類、品質が限定されること、物によっては価格が日本の2~5倍することなどから、日本食主体

の食生活を希望する場合には当面の日本食料品は持参したほうがよい。

- ・東光 (ASIATICO)
- ・華興貿易公司 (Wah Hing Trading)

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

欧米からの輸入食器は豊富である。和食器にこだわらなければ持参しなくても困ることはないが、日本と同様に良質なものは高価である。

ラップ、アルミホイル類、割りばしは入手できる。ジューサー、電子レンジ、トースター、炊飯器など電化製品も各種ある。

食器、調理器具店は以下がある(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・Cuesta Centro del Hogar
- ・Ferreteria HACHE
- ・Departamento Ferreteria AMERICANA
- ・IKEA

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

基本的に代替品で済ませることは十分可能である。また、中華雑貨店で和食器類(急須、湯飲み茶碗、茶たく、茶碗、小鉢、碗、菜ばし、はし置き、しょうゆ差し、等は中国製の代用品あり)は殆ど手に入る。しかし、また、寿司桶、氷かき、たこ焼き器、パン焼器、ホットプレート、フォンデュ器、等があれば便利である。

炊飯器は旧型の単純な機種なら入手可能であるが、日本製炊飯器の方が性能のよいので持参する方がよい。湯沸かしポットなども入手可能だが、使い勝手は多少劣る。電気事情悪いため、持参する場合は高機能なものではなく、単純な機能の品が壊れにくいようである。100V仕様の日本製品は変圧器がなくても機能するが、日本から持参した電子ジャーにはステップダウン・トランス(変圧器)が必要な場合がある。器具によっては大容量のトランスが必要である。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

電化製品は、日本、韓国、アメリカ、欧米メーカーのひとつおりのものが購入可能である。割高ではあるが、現地仕様のため電圧(110V/60Hz、220V/60Hz)などの問題はない。プラグの形状も日本のものが使用できる。

電化製品の購入には、以下の店がある(詳細はPart3イエローページを参照)。




- ・Plaza Lama
- ・Tiendas Corripio
- ・Jumbo
- ・La Sirena
- ・Molina

5-2 家具


家具については、専門店も含め購入先は多い。

家具店には以下がある(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- ・La Nacional
- ・IKEYA
- ・Curacao


5-3 日用品、雑貨

大型スーパーマーケットではほとんど購入できる。トイレットペーパーなどはアメリカ製も売られている(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- ・Cuesta Centro del Hogar
- ・Plaza Lama
- ・Carrefour
- ・Jumbo
- ・La Sirena

5-4 工具、素材

工具、素材などの購入には以下がある(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- ・Ferreteria HACHE
- ・Ferreteria AMERICANA
- ・Almacenes Unidos

6. 金融機関



6-1 金融機関


(1) 銀行

銀行の営業時間は、8:00～15:00が一般的だが、ショッピングセンター内などにある支店は平日20:00まで、土曜の午後や日曜の午前も営業している。

銀行口座(Dペソ)は、身分証明として旅券を提示し、容易に開設できる。米ドルは通常500USDのデポジットを支払えば開設可能だが、外資系金融機関ではより高額なデポジットの他に、他の金融機関等からのレファレンスレターを要求される場合もある。

海外からの送金は、ほとんどの銀行はアメリカ以外からは1週間以上要する。また、若干の受取側負担(手数料)がかかる。

主な銀行は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  Yellow Page
- ・Banco Popular
- ・Banco de Reservas
- ・Banco BHD
- ・Citibank

・Scotia Bank

(2) 口座の開設と閉鎖

利用頻度の高い口座は、普通預金口座でキャッシュカードのあるもの。このキャッシュカードではATMで24時間現金の引き出しが可能。また、スーパーでの支払いもキャッシュカードでできる。カード手数料はその回数にかかわらず、月30Dペソ(約80円程度)。

普通預金口座開設の場合は、パスポートと開設時の預金額として最低3,000Dペソが必要。開設手続きはその日のうちに完了し、キャッシュカード(暗証番号あり)の発行までしてくれる。ドル口座の場合、最低500ドルのデポジットが必要。

当座預金口座の場合は、パスポートと口座開設時預金額として最低10,000Dペソが必要。

口座閉鎖手続きはパスポートを持参し、預金残高を全額引出し、閉鎖手続きをしてもらう。

(3) 小切手

当座預金開設時に手続きを行う。小切手はいろいろなタイプのもがあり、シンプルな小切手なら小切手発行手続き後、2-3日で受領可能。デザインのこったもの、大きさの大きいものは、約1週間程度かかる。また、小切手印刷には手数料がかかる。

(4) 換金方法

多くはUNION BANKに米ドル口座を所持し、そのドル小切手を現地通貨Dペソに両替している。同口座は主に日本で開設手続きができる。なお、帰国時は口座解約または住所変更手続きを忘れずに行うこと。

換金には市内各所にCasa de Cambioと呼ばれる両替商があり、銀行よりも手続きが簡素であり待ち時間も少ない。ただしUNION BANK発行の個人小切手の場合は、以下の両替商を利用したほうが良い。(詳細はPart3イエローページを参照)。なお、不渡り小切手を出さないよう残高をきちんと確認すること。(不渡り小切手処理手数料として100米ドル以上が徴収されることになる。)



・Agente de Cambio Banco Union (JICA入居ビル内9階)

名前は似ているが、上記のUNION BANKとは一切関係なし。

6-2 クレジットカード

日本と同様VISA、MasterCardなら、ほぼどの店でも利用できる。また、カードの裏にATH、BTHと書かれていれば、そのマークの記載があるATMで現金の引き出しができる。(一回の引き出し限度額設定有り。)

最近クレジットカードの犯罪被害が多いため、なるべく使用しないほうが良い。やむを得ず使用する場合は、信頼できるホテルやレストランに限定し、使用後は明細書の確認を怠らないこと。万が一のために、クレジット会社の緊急連絡先をメモしておくことが必要である。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

鉄道はなく、車が主要交通手段である。道路の舗装率は高いが、道のあちこちでコンクリートが陥没し、その穴が開いたまま放置されていることが多く、注意が必要。また、農村部ではまだ未舗装のところが多い。

首都ではタクシー、乗合タクシー、首都圏公共バス (OMSA : la Oficina Metropolitana de Servicios de Autobuses)、首都地下鉄 (METRO) がある。また、長距離バス会社3社 (Metro, Caribe Tour, Terra Bus) が大型バスで主要都市間を結んでいる。

地方都市でもサンティアゴにはタクシー、乗合タクシー (Caro Publico 又は Concho)、公共バス、乗合バス (Gua Gua) があり、交通網は整備されている。その他の地方都市では乗合バスかオートバイタクシー (モトコンチョ) が最も一般的な乗り物である。

首都から地方都市への幹線道路は整備されており、おおむね快適である。北へ Autopista Duarte、西へ San Cristobal Expressway、東は Avenida Las Americas があり、いずれも通行料は普通自動車の場合 30D ペソである。

首都以外にも観光地が複数あるため、国際空港 Las Americas (ラス・アメリカス空港) は、欧米からの観光客の利用が多い。国内線専用空港はサントドミンゴ市内にあり、Air Santo Domingo など数社が各地に運航している。

< タクシー >

流しはないので、タクシー会社に電話して無線タクシーを呼ぶか、ホテルに待機しているタクシーを利用する。メーター制ではないため、念のため乗車前に料金を確認したほうがよい。無線タクシーのほうが安く、市内なら 150D ペソ程度である。冷房有りの場合は 10-20D ペソ追加となる。ホテル前タクシーは 200D ペソからで走行距離、時間帯などによって若干変わる。アポロタクシー (電話 : 809-537-0000)、ゾーナタクシー (電話 : 809-681-9999)、アナカオナタクシー (電話 : 809-530-4800) がよく利用されている。

< 乗合タクシー (カロ・プブリコまたはコンチョ) >

ドミニカ特有で、ほぼ一方向に定められた路線を走り、どこでも乗降が自由な個人営業の乗り物である。車両は普通乗用車やワゴン車を使用しているが、ほとんどが旧型でかなり古い車が多い。道の端に立って片手を道路側に斜め前に突き出し、手首を進行方向に振るようにして合図を送る。

前の助手席に 2 人、後ろの座席には 4 人乗るのがふつうである。距離によって料金が変わるが、15 ~ 20 ペソの料金を先に払い、降りたい場所を運転手に告げる。現地の人はこちらを乗り継いで通勤している人が多いが、悪質な場合もあり、犯罪被害が後を絶たない。特に、最近では車内で脅かされ金品を盗られたりする例が多く、当事務所では JICA 関係者の利用については全面禁止としている。

< 公共バス、グアグア >

首都とサンティアゴの公共バスOMSAは前政権が1999年12月に再導入して以来、路線を拡大し(Ave. 27 de Febrero, Ave. John F. Kennedy, Ave. Maximo Gomez, Ave. Bolivarなど)、現在35万人が利用している。路線図の配布はしていないが、朝5:00から22:00まで運行され、料金も15-20Dペソと安く、コンチヨに比べれば安全なため利用者を集めている。停留所はわかりやすい。車掌が出口付近に乗務しており、降りる時に料金を支払う。お釣りも出る。

乗合バス(Gua Gua)は地方都市間を運ぶ共同組合や個人営業の交通機関で、主にマイクロバスが利用され車掌が乗車している。安価なため利用者が多いが、たまにガス欠やパンクなどのトラブルも見かける。首都のターミナルの場所は行き先によって異なる。また長距離バス会社が冷房付きトイレ付き大型バスで主要都市間を結んでおり、新聞に出发時刻が掲載されている。予約は必要ないが、冷房が全般に強いので上着を準備して乗車すると良い。

< 首都地下鉄 >

2008年11月に、ドミニカ初の公共鉄道網が開通した。サントドミンゴ北部のCharles de Gaulleに位置するMama Tingo駅から、市内中央を南北に14.5キロメートルの距離を進み、La FerialにあるCentro de los Héroes駅までとなっており、16駅がある。利用者は乗車カード(Tarjeta Recargable)を事前に購入し、一律20ペソを前払いし乗車する。警備員が各所に常置されていて、快適に利用できる。

現在、第二路線(東西方向)を建設中である。

(2) 空港から市内への移動

路線バスはなく、タクシー利用のみとなる。

サントドミンゴ市内～ラス・アメリカス空港間は固定料金で片道40米ドル程度だが、念のため乗車前に料金を確認すること。空港到着口を出ると「TAXI」の黄色い看板があり、左手にタクシー乗り場がある。そこに係員がいるので、行き先(ホテル名等)を伝え、利用料金を確認の上、乗車する。

(3) 自家用車を利用する場合

運転免許証、身分証明書、車両登録証(Matricula)、保険証などの書類は必ず携帯しておくこと。コピーでも特に問題はない。原本を携行する場合は紛失、盗難に十分注意し、必ず、別途コピーを保管しておくこと。特にMatriculaは再発手続きが複雑で、売買の際、名義を変更する場合にも必要なので紛失しないよう気をつけること。

車両台数が急速に増加しており、首都市内は朝昼夕を問わず渋滞している。

全般的に、運転マナーは地元の人でも認めるほど悪い。方向指示器を出さない右左折や進路変更は日常茶飯事である(もともと壊れて点灯しない車もあり、窓から手を出して合図することも多い)。また、少しでも我先に出ようとするため、わずかなすき間でも割り込んでくる。こちらもある程度強引に入らないと、いつまで

も進めないことになる。さらに飲酒運転も多く、接触や追突事故が多い。クラクションも頻繁に鳴らす。特に乗合タクシーは客を探しながら運転しているため、わき見運転が多く、かつ急停車するので注意を要する。また、バイクも車間を自由自在に割り込んでくる。

赤信号に変わってもなお突っ走ってくる車があるので、後続車のクラクションに惑わされず、青信号に変わっても急発進せず、注意して進んだほうがよい。信号が黄に変わったら、交差側の車両の発進が早いため、無理せず次の青を待つほうがよい。しかし、後続車が猛スピードで後ろから走ってくることもあるので、衝突されないよう注意が必要。

信号は日本と異なり、交差点では前方が赤信号でも右折が可能であり、時間差なく交差する側の信号が青になる。また、交差点によっても異なる。

停電や故障で信号が機能していないことがあるため、警察官が交通整理をしたりするが、かえって渋滞や混乱を招いたりするケースも目にする。

夜間は特に注意が必要であり、交差点を通過するときにはヘッドライトを上下させたり、クラクションを鳴らしながら通過したりするが、周囲の状況をよく確認するのが第一である。また、ライトをハイビームにしている車も多い。

特に地方では、モトコンチョ1台に3～5人が乗っていることもあり、ふらふらと走行しているので注意が必要である。オートバイ運転者はヘルメットの着用が義務づけられているが、守っている人は少ない。車の前方はもちろんのこと、横や後ろにも常に注意を払う必要がある。

学校、警察などの公共施設の前や住宅地内の道路には、速度を制限するためにコンクリートでつくった半円形の凹凸（MuroまたはPolicia Acostado、MODERARの標識あり）があり、速度を落とさないとかなりのショックを受けることになる。また、ときどき道路に小さな陥没があり、これを避けるために前の車が急に車線変更することがあるので注意すること。排水が悪い道路では大雨が降ると冠水する。小型車だとエンジンに浸水して進まなくなることもある。

行き先の標識はあるが、地方都市では町中に入るとわかりづらいことがある。その場合は、周りの人（特にモトコンチョのドライバー）に聞けばたいてい親切に教えてくれる。

(4) レンタカーなどを利用する場合

乗用車、マイクロバスなどのレンタカー会社は空港をはじめ各地にある。利用するには身分証明書とともにクレジットカード（主にVISA、MasterCard、American Express）が必要である。

月極め、日極め、走行距離による料金設定があり、ほとんどが前払いである。さらにデポジット（返車時に返還される）を要求される場合もある。車のタイプによって異なるが、レンタル料は1日50ドル～120ドル程度である。ガソリンは自己負担（満タンで借り、満タンにして返す）である。乗り捨てできる場所があるので確認しておくといよい。レンタカーには車両保険のみで対人・対物保険をかけていない

場合が多い。運転には十分注意する必要がある。

主なレンタカーは次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。



- ・AVIS
- ・Budget
- ・Hertz
- ・Honda
- ・Nacional

(5) 地図

主要都市毎に市街地地図が販売されていて便利である。特にサントドミンゴ市については、一方通行を詳細に記した地図(Guia de Santo Domingo)があり、極めて重宝する。ホテルやガソリンスタンドにある売店や市内書店などで購入できる。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

保険適用が必要な場合は警察の事故証明書が必要である。相手側と揃って最寄りの警察に出頭しなければならない。しかし、相手が逃げることもあり、その場合は中央警察に出向くことになる。当事者双方が揃わないときは中央警察でのみ調書を作成することができる。また、ただちに保険会社に連絡し、事後処理を任せ、警察が紹介する弁護士には依頼しないこと。

人身事故の場合は警察に一晩以上留置され、裁判の結果によっては交通刑務所で服役しなくてはならない。

最近では『CASA DE CONDUCTOR(運転手の家)』を利用することができるようになった。これは警察と保険会社が共同運営しており、このサービスが保険に含まれていると交通事故後の処理を楽に進めることができる。事故証明書の申請や保険会社の連絡及び諸手続きもそこで済ませることができる。人身事故を起こした場合でも、警察の留置所ではなく、その施設内の宿泊施設に泊まることのできる。

(2) 救急病院

オートバイ事故の負傷者は、主にHospital Dr. Dario Contreras(電話: 809-596-7231)に運ばれる。その他の負傷者は、総合病院のClinica AbreuやCentro Medico UCEに運ばれる。

(3) 車両の盗難、車上荒らし

車両や車内の物品の盗難は多い。車両に防犯アラーム(4000Dペソ程度)を取り付けたり、駐車時にハンドルロックをしたりする人が多い。ホイールキャップも盗まれることが多いため、ネジでキャップとホイールを固定したほうがよい。車から離れるときは外から見えないところにものを置かない、あるいは若干のチップを渡して車の近くにいる人に見てもらうようお願いするなどの防衛手段も有効で

ある。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

国際免許証で1年間は運転可能である。

交通法規としては、まず、左ハンドル、右側通行である。右ハンドル車は法令により運行を禁止されている。

2000年に多くの道が一方通行になったが、狭い裏道では対面通行であることが多い。優先道路は一方通行(矢印の標識がある)の道路と広い道路である。交差点に示されている白線の幅が細いほう(横断する方向)が優先道路で、幅が太いほうは一時停止しなければならない。

たとえ優先道路であっても、交差点では常に注意を払い、徐行するのが安全である。制限スピードは市内では時速40km、市外は約100kmである。速度制限されているところ(軍や警察)には標識が立っている。

青信号は前方と左右に進める。青の矢印は矢印の方向にだけ進める。注意すべきは、左折禁止の交差点が多く、その表示がない、あるいは判別しにくいことである。また、信号が4つあるところは最後に左折の表示が出るようになっている。交差する道路の左からの通行車両がなければ、赤信号でも右折できる。ただし、左からの車が優先なので注意すること。直進車は右折車の進路を妨げないよう右側をあけておくこと。

警官が交通整理を行っている場合は、信号にかかわらず警官の指示に従うこと。ドミニカ共和国政府官用車を労働日以外などに使用する場合は、所属長から使用許可証(Carta de Ruta)を取得しないと運転できない。警察にチェックされる場合がある。

(2) 罰金、罰則

交通警察は車を停止させて免許証、自動車登録証、点検票、保険、停止板、消火器、救急箱(官用車は使用許可書)の提示を求めてくることがある。

万一違反を摘発された場合は、原則として反則キップを切られ、免許証を取り上げられ、後日交通裁判所で裁判を受けて罰金を支払うことになる。

7-4 車の修理

(1) 部品


すべてのメーカーの日本車が輸入されているが、車種によっては代理店に在庫部品が少なく、取り寄せるまでに時間がかかることがある。純正品以外は品質に問題があることが多い。

(2) 修理工場

日本車販売代理店がアフターサービスを行っている。一般の修理工場では、手抜き修理や代替品での修理を行う場合がある。評判や値段を確認してから利用

したほうがよい。

日系の修理工場は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  · Autoservicio Japones
- Centro Tecnico Japones
- Kawashiro Motors
- Fukuoka Motors

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

米国系電話会社のCODETELが最大の電話会社である。同社はほとんどの地域に電話サービスを提供しており、地方の一部を除いて通信状況は良好である。

その他TRICOM、Orange、Vivaなどの携帯電話会社がある。毎月送られてくる請求書はチェックが必要である。また、請求書が送られてこない場合には問い合わせたほうがよい(CODETEL電話: 809-220-1111)。未払いが1カ月を超えるとサービスの停止、滞納金請求と再接続手数料が徴収される。月々の支払いはCODETELの営業所をはじめ、銀行、スーパー、薬局などで可能であり、クレジットカード払いも可能である。事前にクレジットカードを登録すれば、電話で支払いもできる。

(2) 国内電話

市内通話の場合、809を含め番号10桁を全てダイヤルする。市外はいずれの都市も番号10桁の前に1をつけて押せば直通でかけることができる。オペレーターを経由するときは0を回し、相手の電話番号を伝える。


電話会社との契約内容にもよるが、市内通話は基本料金に含まれている。市外通話料は固定電話間の通話は1分約1.3Dペソ、携帯電話へは1分約4.0Dペソである。市内通話無制限のVIPサービスも普及しており、インターネット利用者に人気がある。

昨今の携帯電話の普及により、空港や大学以外で公衆電話を見つけることは難しい。料金は5Dペソからで、市内であれば5Dペソで数十秒通話できる。

プリペイドカード式の電話は、国内長距離および国際電話も可能である。カードは各電話会社のものであり、薬局やコルマドなどで入手できる。

CODETELから各家庭へイエローページ『Paginas Amarillas』の宅配がある。

主な電話会社は次のとおり(詳細はPart3イエローページを参照)。

-  · CODETEL

(3) 国際電話

基本的に、すべての国に直接通話が可能である。CODETELの長距離電話DDDは海底ケーブル、衛星通信、マイクロ波通信の3種類のシステムがある。カ

リブ島嶼地域、アメリカ、カナダへは最初に1(国番号)を押してから次にエリア番号を押す。その他の地域は011(国際電話識別番号)、国番号(日本の国番号は81)、0をとった市外局番を押す。オペレーター通話は0だが、ドミニカ共和国から日本へのコレクトコールはできない。

日本への電話料金は、CODETELで直通の場合、契約電話からは18.15Dペソ/分である(税別)。

(4) 携帯電話

携帯電話を扱っている電話会社は数社あり、庶民生活に普及している。日本の機種とは規格が異なるため現地で購入する必要がある。ノキア、モトローラ社製など種類が多く、販売店も多い。電話会社により電波が入りにくい地域もあり、通話できない場合もあるため、地方に赴任する場合は、地元のカウンターパート等に相談してから契約した方がよい。

電話会社から電話機を購入し、契約して番号を取得する。プリペイドカード方式の電話もある。身分証明書があれば保証人は不要であり、その場で購入、使用することができる。

携帯電話に固定電話から電話する場合は最初に1を押すが、携帯電話同士では必要ない。また、携帯電話から地方にかける場合も頭に1は必要ない。海外から携帯電話にかけてもらう場合も、最初の1は必要ない。日本同様携帯電話会社の競争は激しくなっており、料金は多種多様である。

8-2 電信

(1) ファクシミリ

FAXは電話ほど普及していないため、CODETEL電話センターで送受信サービスを行っている。

(2) テレックス

一般に利用されていない。

(3) 電報

一般に利用されていない。

(4) インターネット

広く普及している。プロバイダーも数社(CODETEL、Orange、TRICOM、ASTER、VIVA等)がある。月料金はCODETELのFLASH PLANで2400Dペソ(税別)程度。使用環境は良好であるが、時間によっては接続しにくい時もある。CODETELの電話センターではインターネットサービスを行っているほか、首都や地方都市内にインターネット・カフェも多く見られる。日本でAOL、ATTなどに加入して現地の接続ポイントに接続する方法もある。

サントドミンゴ首都圏ではケーブル接続が普及しており、ケーブル会社の場合、ケーブルテレビ料金とインターネット使用料がセットで1500Dペソ程度のももある。メキシコ系ケーブルTV会社“SKY”と契約すれば月額約1900DペソでNHKブ

レミアム放送を受信できる。

8-3 郵便

(1) 一般事情

全般的に郵便の信頼度は低い。

関係者のほとんどは事務所気付で郵便物、小包を受け取っている。宅配は信頼に欠けるため、私書箱を設けるか事務所の私書箱を利用したほうが確実である。また、地方受け取りにすると時間がかかり、紛失の可能性が高くなる。

一般的に、日本から封書やはがきを航空便で送ると、JICA事務所には1週間から10日程度で到着する。郵便小包は受け取りに手間がかかり、また効率的に業務が行われていないため所在がわからなくなる可能性がある。したがって、重要なものや確実に送付したい場合は小包も含め、国際宅配便(DHL、ヤマト運輸、Federal Expressなど)を使うことを勧めている。

ドミニカから日本に郵便物を出す場合、街中のポストはなかなか回収されなかったりするので避けたほうがよい。中央郵便局(Calle Héroes de Luperón esquina Rafael Damirón, Centro de Los Héroes.

809-534-5838/809-533-1407 営業時間 月～金 午前8時00分-午後5:30まで)で投函すると1週間程度で到着する。郵便局はその他にも Plaza Central ショッピングセンター(Ave. 27 de Febrero 809-334-6821)の2階にもある。

日本までの航空郵便料金は、最低料金(20gまで)が46Dペソ、21～50g 52はDペソ、51～100gまでは65Dペソ、1～2kgは598Dペソである。

郵便小包の発送・受け取りは、小包専用の部署(サントドミンゴ港の中にあるEI Colis Postal)に出向かなければならない。本来、小包が到着すると郵便局から通知が来ることになっているが、時期によっては荷物が多いため対応が追いつかず、倉庫に山と積まれている。したがって、荷物が到着するころ(航空便で3週間、船便で3カ月後)を見計らって、倉庫に探しに行くのが最も確実である。一般に荷物の傷みは激しく、食品などはネズミの害に遭うことも多いので、内容物によっては推奨できない。

なお、受け取りには通知書のほか身分証明証(旅券など)、手数料100Dペソ程度が必要である。

(2) 課税

書簡、書籍以外はほとんどが課税される。

(3) 国際宅配サービス

DHLを利用しているが、ほかにもUPS、OCS、Federal Express社など、国際宅配便サービスの会社は多い。日本とは早ければ中3日で送受信できる。DHL便の書類の最低料金は東京まで1,000Dペソ程度(税別)である。段ボール箱では重さや日本の地域によっても異なるが1ポンドで、2,000Dペソ程度である。

国内郵便事情がよくないため、主な地方都市へは長距離バス会社Caribe

Tour、Metroが営業所留めで荷物や封書を運ぶサービスを行っている。

また、市内配達用にメッセンジャー、クーリエ会社もある。また、マイアミ経由の私設郵便局もある。

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達の方法

パソコンは、日本でも一般的なIBM、Hewlett-Packard、DELL、TOSHIBA、SAMSUNGを初め、最近では中国製の安価なパソコンが多く出回っている。販売店も多く、品数は多くなってきたが、常時店にあるハード、ソフトは限られており、それ以外はアメリカからの取り寄せとなる。関税、輸送料などから一般に割高であるがバーゲンもある。アメリカから直接メールオーダーで取り寄せる方法もある。

USBメモリー、CD-R/RWの調達に問題はない。プリンターは、EPSON、Hewlett-Packard、キャノン製品などが販売されている。スキャナーも販売されている。

現地購入のコンピューターのOSはスペイン語または英語であるので、日本語環境にするためには、ユーザーが日本語のOSを調達し、自分であるいは現地のエンジニアリングなどに依頼してインストールしなければならない。

(2) 使用の際の注意

電力事情がよくないため、無停電電源装置(UPS)が必要である。落雷に備え、電源とモデムケーブルにサージプロテクターの使用を勧める。割高だが輸入品が入手可能である。コンセントの形状、電圧に関しては「1-7 家電」を参照のこと。

また、ウイルス対策ソフトもMcAfeeやNortonなどが販売されているので、ウイルス対策ソフトを適切に使用することと、安易にフロッピーやメールでデータのやりとりをしないと注意が日本以上に重要である。

(3) 修理

修理の技術レベルはあまり高くない。また、他店で購入したものについての対応は概してよくない。日本製のコンピューターの場合、スペアパーツが手に入らない等で修理ができない場合も多い。特に、ノートパソコンの修理は日本での修理を勧める。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

官公庁7:30～14:30(幹部職は午後も勤務)、学校(8:00～12:30)、民間企業は9:00前の始業が一般的である。昼休みは13:00ごろからが1時間程度が一

般的である。

(2) 有給休暇

5年以上の継続労働者には18日間の有給休暇が法律上認められている(職場によっては、それ以上の休日を付す場合もある)。

(3) 執務室

大部屋の机、パーティションあり、パソコン1台(インターネット接続)が平均的だが、配属先によって執務環境は大きく異なる。

(4) 通勤事情

公共交通機関には、バス、乗り合いタクシー、バイクタクシーがあるが、安全性や利便性の問題から専門家の多くは、勤務先提供者、自家用車または無線タクシーで通勤している。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

首都の空港Las Americas(ラス・アメリカス国際空港: AILA)はそれほど大きくないのでわかりやすい。

(2) 入国手続き書類

日本の旅券所有者は、ツアーカードの購入は不要である。

また、税関申告書も必要であるが機内で配らないことが多いため、必ず通関ロビーで記入すること。外貨持ち込み申告書はない。

なお、業務目的以外の場合は、3か月以内の滞在については査証不用。

(3) 入国審査

旅券と入国カードおよび税関申告書を審査官に提出し、入国スタンプを旅券に受ける。細かな質問を受けることはあまりない。

(4) 税関検査

入国審査官にチェックされた入国カードと税関申告書を税関に入る時に係官に提出する。荷物引き取り後、旅券を提示して荷物検査を受ける。

野菜・果物・苗木・種子などの植物は持ち込み禁止となっている。生鮮食料品は原則として輸入禁止で少量でも検疫を受けることになっている。しかしながら、係官によってその基準は一定していない。

ほかの物品については明確な制限はないが、商品と見なされ得る数量を携帯する場合は注意が必要である。電化製品、特にパソコン、テレビ、ビデオや計測機器などは課税される可能性が高い。CDやビデオテープは少量であれば特に問題はない。ふつうは開梱せず通関してしまうが、段ボール箱に入っていてそれと明確にわかるような電化製品は開梱させられる。

(5) 空港内での留意点

預けた荷物が未着のときには、税関ロビーにある申告カウンターで申告用紙に

記入する。税関の検査台から空港ターミナル外の駐車場までポーターサービスがある。ポーターのチップは荷物1個が25Dペソ程度であるが、ドルで高額に請求してくる悪質な者もいるため注意すること。

(6) 出迎え

該当情報なし。

(7) 空港からの主な交通手段

タクシーのみ。1階出口を出ると、すぐ左側に数台待機しているのがふつうである。サントドミンゴ市内中心部まで33kmで約40分、料金は約1500Dペソ。ドルで支払うと約40米ドル程度。メーターは付いていないので、乗車する前に料金を確認しておくこと。

(8) その他の留意点

外貨は入国審査場手前と税関終了後にある銀行で両替できる。また出国ロビー(2階)にも銀行はある。ただし、夜間は営業していない。

年末年始およびイースター、夏休みの時期は海外居住のドミニカ人が一斉に帰省するので、空港はきわめて混雑する。特に12月、4月、7月の入出国便を利用する時は、かなり早めに予約する必要がある。

アメリカ経由の場合、ニューヨークかマイアミ乗り換えでアメリカン航空などを利用してサントドミンゴに入国になる。これらアメリカの航空会社はサントドミンゴへの片道チケットしか所持していないと搭乗拒否される場合がある。

ドミニカ共和国に3カ月以上滞在する場合は、日本大使館に在留届を提出すること。また、一般旅券での滞在は原則として移民局に外国人登録をしなければならない。

11-2 出国

(1) 出国時の概要

入国時と同様式の出国カードを記入する。

(2) リコンファーム

不要ではあるが、各航空会社ともリコンファームを勧めている。

(3) チェックイン

出発時刻2時間前が一般的。年末年始、夏休み、イースター時は混雑するので早めに到着するのが望ましい。

(4) 空港利用税

ドミニカ共和国の空港利用税は、航空券代に含まれている。

(5) その他の留意点

外国人居住者証明書を所持する人は、外国人登録証も提示する。

(6) 米国の電子渡航認証システム(ESTA)について

2009年1月12日より、我が国を含む短期滞在査証免除対象国の国民が査証免除対象者として米国に渡航しようとする場合は、事前に電子渡航認証

システム: Electronic System for Travel Authorization、以下「ESTA」の認証を受けなければならない。

申請は渡航 72 時間前までに行う必要があるが、電子渡航認証システム (ESTA) 申請時に一人あたり 14 米ドルが課される。申請料の支払いは、ESTA 専門ウェブサイト <https://esta.cbp.dhs.gov/>を通じて行い、その際、支払い可能なクレジットカードまたはデビットカードは、Master Card、VISA、American Express 及び Discover の 4 種類に限られる。

通常、一度 ESTA の認証を受けるとその期間は米国への複数回の入国が可能で、認証を受けた日から 2 年間有効だが、パスポートの期限が切れる場合やその他、再申請しなければならない状況が発生した場合は、認証を受けた日から 2 年以内であっても再申請の必要がある。ESTA の申請は、専用のウェブサイト <https://esta.cbp.dhs.gov/>より行い、申請に対する回答は多くの場合、即座になされるが、仮に回答が保留された場合は 72 時間以内に回答があるので、数時間後に再度ウェブサイトを確認すること。また、認証が拒否された場合は、最寄りの米国大使館・総領事館で査証申請を行う必要がある。詳しくは、下記ウェブサイト等を参照すること。

米国国土安全保障省のウェブサイト(英語)

http://www.cbp.gov/xp/cgov/newsroom/news_releases/national/08062010_2.xml

や、在京米国大使館のウェブサイト(日本語)

<http://japan.usembassy.gov/j/visa/tvisaj-important.html>

11-3 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

通過国の査証取得などがある。

(2) 車の処分

一般ナンバー車を売却する場合は、一連の法定手続き(警察証明取得、売却税等の支払い)を経ることとなる。2週間程度で名義変更は完了する。

売却方法には、知人またはその紹介、新聞広告、または中古車ディーラーへの売却などがあるが、特に問題になるのは、名義変更終了までの運行不可能な期間などである。

(3) 家財道具の処分

新聞広告を出して売する方法と、中古家具店に一括売却する方法がある。

日本へ返送する場合、少量であれば国際宅配便が最も確実である。また、運送会社に依頼する場合、梱包から配達まで一括して依頼することもできるが、梱包時には必ず立ち会う必要がある。自分で梱包し、輸送のみを依頼する方法が安全かつ確実である。いずれも航空便(貨物扱い)と船便とがあるが、盗難により届かないこともあるため、保険をかけるのがよいが、保険求償には事故証明の書類の手配とかなりの時間がかかるので、あきらめてしまう人も多い。別送荷物を送ったときは、日本入国時に税関で別送荷物の申告をしておくこと。

(4) 住宅の明け渡し

契約書に従い、通常1カ月前に通告する。その際、文書で通告しておくトラブルが発生したときに役に立つ。

敷金、前払い家賃などの扱いは各契約書に従うこととなるが、最後に払い戻されることになっているものは、最終月の家賃と相殺するのが無難である。契約によっては敷金のうちいくらかを室内のペンキの塗り替えや破損の修理にあてるところが多い。

そのほか、電気、電話、ケーブルテレビ使用料については、文書で解約の通知を出し、最後の月の清算にあたっては、後任者または家主に概算払いをしておく。なお、電気の敷金は解約時に返還されることになっているが、その手続きに半年くらいを要し、何度も足を運ばなければならないので、実際には捨て金となる。可能であれば、家主を契約者とすることが望まれる。

(5) 外貨持ち出し規制

現地通貨の米ドルへの再両替は、換金時の証明書があれば換金額の30%を限度に空港の銀行で可能である。長期滞在者は、任期満了近くには大量のDペソへの換金をしないのが賢明である。レートが悪いのを覚悟すれば、残ったDペソで米ドルを購入することは可能である。

外貨の持ち出しは18歳以上、1人1万米ドルに制限されている。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

政治的な要求を行うストライキ(Huelga)があり、事前に警察に届けが出されるが、一部で投石や道路でタイヤを燃やしたり、車両を破壊したりするなど暴動化する場合もある。また、政治好きな国民性もあり、選挙に興奮しやすい傾向があるため、選挙運動の集まりなどには近づかないこと。

(2) 対処法

緊急時の連絡網は、日本大使館で作成している。

ラジオ・テレビによる情報収集に努め、不要な外出は避けることが肝要である。日ごろより信頼関係のある現地の人々の情報も参考にするとよい。

国立サントドミンゴ自治大学の学生が紛争を起こすことがある。その周辺道路が閉鎖されるので警官の指示に従うこと。警官がいなくとも、妙に車や通行人が少なかったり、路上にゴミや石が散らばっていたり、古タイヤが燃えていたりする場合は要注意である。この騒ぎを鎮めるため、しばしば催涙ガス弾が打ち込まれる。催涙ガスは皮膚に触れてもちかかか感があるが、これを吸入すると眼の症状のほかに呼吸困難、嘔吐、めまいを起こす。治療には2%の重曹水で洗眼し、温湿布を行うか、または「アメロピン」を点眼するとよい。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

治安は悪化の傾向にある。アメリカへ出稼ぎに行き犯罪に手を染め、服役して強制送還されてくるドミニカ人は年間2000人いるといわれ、銃を使った凶悪犯事件もかなり報道されている。在留日本人および旅行者もピストル強盗、ひったくり、スリ、空き巣の被害に遭う人が増えている。乗合タクシー内でのスリは複数で組んで実行するケースが多く、一方が注意を引いておいて相方がする。また、バイクに乗ってのスリも多い。

また、特に独立家屋の場合は念入りの自衛手段を講じる必要があるが、アパートでも屋上から侵入したり、窓の鉄枠をのこぎりで切断して侵入されたりするケースがある。非常階段は泥棒の侵入路となりやすい。

車の盗難については、警察に届けて1～2日で発見されない場合はまず出てくることはない。また、人通りの少ないところや暗がりに駐車すると、窓ガラスを割ってなかのものが盗まれることがある。駐車場所は慎重に選び、適当な人が周囲にいたら見ておいてもらうとよい。

(2) 住宅の防犯対策

まず常時警戒を怠らず、外部から見ても厳重な警備がされているという印象を与えることが大切である。また、外出時に留守だと確信させない工夫、大金や高価なものを家には置かないこと、信頼できる隣人と連絡し合い助け合うことも大切である。

(3) 市中での防犯対策

女性はハンドバッグをとられやすいので、大金や高価なものは入れない。華やかな服装や装飾品を身につけて外出すると、人目を引きやすく、ひったくりなどの被害に巻き込まれる危険が増すので、十分注意が必要である。

自家用車については盗難予防の警報装置を取り付ける人が多い(警報装置は3000-5000Dペソ程度)。ただし、わずかな振動や衝撃(ときに雷鳴や、通行人が触れただけ)での誤作動も多く警報音が鳴り響いているのをよく聞く。

ハンドルロックもあわせて有効である。ホイールキャップも盗難に遭うのでネジで固定させたほうがよい。外出先では駐車場所の選定が最も大切である。路上駐車は厳禁である。

(4) 注意すべき場所、危険地域

サントドミンゴ市内では、Ozama川より西ではおおまかにいうと東西に走るAve. John F. Kennedyより北側、Ave. Maximo Gomezより東側は低所得者層が居住する。特にOzama川沿いDuarte橋より北側は麻薬売買、売春、銃による犯罪も多い最貧地区で、Sanchez橋の対岸と同様に夜間、昼間ともに歩かないこと。川沿いなどは不法居住が著しい。市内西側ではAve. Luperonの西側も貧困地区である。

一方、北のArroyo Hondo地区は最富裕層が暮らす、使用人たちの貧しい家

も並存する。

また、Ozama川の西側地区の家賃の高さを嫌って、東側のEns. Ozma地区 Ens. Alma Rosa地区などの人口増加が著しいが、北側は貧しい地区と隣接していて、初めて入るときには、どの地区でも周辺の様子に気がつけたほうがよい。

(5) 被害時の心得

事件が発生したら、速やかに緊急連絡網に従い連絡し、指示を受けること。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

ハリケーン(Huracan)の季節は6月から11月で、ピークは8～9月。年に数回来襲する。1998年9月に来襲したハリケーン「ジョージ」は死者も出て大きな被害をもたらした。

地震はときおり微小なものを感じる程度であるが、島に地震帯が通っているとみわれ、1947年には実際に大災害があった。また、1993年、2003年にも震度5以上の地震があった。隣国ハイチでは2010年に大地震が発生した。常日頃から、水や非常食を備蓄することが望ましい。

(2) 防災対策

ハリケーンについてはメディアに注意する。ケーブルテレビには気象情報チャンネル36がある。インターネットは(<http://www.dr1.com/index.html>)である。

気象庁からはAdvertencia、Alert、Avisoの順に警報が出され、Avisoが出たら上陸地点、予定時間も発表される。停電への備えや一時的な水、食料の確保、戸締まりに気をつける。

地方ではダムの決壊、洪水、川の氾濫で陸の孤島となる場合もある。

地震については耐震設計の構造物が少なく、万一、大型の地震があった場合には不安であるが、家具などの安定化などはしておきたい。

また、アパートには非常階段のないことが多く、高層アパートに居住する場合には火災の発生を想定し、避難用ロープなどを備える必要がある。

(3) 被災時の心得

ハリケーン通過後には、垂れ下がった電線による感電事故が多いので、十分注意する。緊急連絡網を携帯すること。緊急時は地域の避難指定地、もしくは安全な知人宅やホテルへ一時避難すること。

12-4 緊急連絡先電話番号

- ・日本大使館：809-567-3365
- ・警察：119
- ・緊急全般(火事、救急車)：911
- ・気象庁(Meteorologia)：809-788-1122
- ・消防(Bomberos)：809-682-2000

- ・赤十字 (Cruz Roja) : 809-682-4545
- ・国家警察 (Policia Nacional) : 809-221-3004、809-682-3151
- ・無線パトロール (Radio Patrulla) : 809-687-3151
- ・危機管理庁 (Defensa Civil) : 809-472-8614

13. 社交



13-1 風俗習慣

スペイン的気質、カトリックの精神、忍従的ながらも陽気なアフリカの気質、ジャズやロックのアメリカニズムなど多様な要素が一体となり、国民は屈託がなく開放的である。

13-2 パーティーでの留意点

招待状にはパーティーの主催者、目的、場所、服装、出欠の返事の要否などが書かれているのでよく注意して見ること。R.S.V.P.とある場合にはフランス語の *Repondez s'il vous plait* の意なので出欠の返事が必要である。パーティーには着席、ビュッフェ形式(立食形式)や茶会などいろいろある。着席する場合は席割りがされているので、氏名入りのカードまたはホストの指示に従う。食事はホストが食べ始めるまで待つのが常識である。

日本人は日本人同士または男性、女性同士だけで集まる傾向があるが、会話は男女一緒に、またカクテルパーティーのときにはまんべんなく会場を歩くよう心がける。

13-3 来客時の留意点

家庭に招くことは最高の歓待である。客を迎え入れる際は握手して迎える。親しい間柄の場合は、女性同士はもちろんのこと、男女間であっても軽く頬を合わせて抱擁する。

13-4 訪問時の留意点

時間に大らかな国民性から、指定された時間より30分程度遅れていくのが一般的である。私的なパーティーであっても、誘いが無い限りは子供を同伴しないのがマナーである。また、夫人同伴の招待が常識であるので、子供がいるからとの理由で夫人がたびたび欠席するのは好ましくない。できる限りベビーシッターを雇用し、子供が慣れるよう育児教育を心がけることが肝要である。

誕生日などに招待されたときは、事前に花を贈っておくとよい。親しくなると子供の誕生日に招待されることが多くなる。

手土産は必ずしも必要ではないが、ささやかな日本の品物を贈るとたいへん喜ばれる。私的に招待を受けたときは、できる限りなんらかの形で引き返すのがドミニカのマナーである。

名刺はパーティーではあまり使用しないが、あいさつに出向くときなどは必要である。名刺は現地でも印刷可能である。

13-5 禁止されている言動(タブー)

子供は背負わないこと。衆人の前で授乳しないこと。人前では靴を脱がないこと。アパートのベランダに洗濯物を干すことは好ましくない。食後、テーブルについたまま、つまようじで歯に詰まったものを取るしぐさをする。人前でゲップをする。

日本ではお金を表すのに親指と人差し指を丸めて輪をつくるが、このしぐさは絶対にしないこと。

13-6 日本人会

キスケージャ会と呼ばれる在ドミニカ日本人長期滞在者、日系企業、大使館、JICA関係者の親睦団体がある。入会費1000Dペソ、会費は半年ごとに500Dペソ。(但し、現在は殆ど活動をしていない。)

13-7 JICA帰国研修員同窓会

ADEJA (Asociacion Dominicana de Ex-becarios del Japon) が1982年に創立され、約1,500人以上の会員がいる。

研修成果を基にしたセミナーやワークショップ、機関紙の発行、日本とドミニカの文化交流などを実施している。

ADEJAのホームページ: <http://www.adeja.org.do/>

13-8 現地の人々との交流

職場の上司、同僚、ホームステイ先の家族、友人などの家庭に招かれる機会が多い。料理は簡単にし、主婦も会話に参加するのが日本との違いである。現地の人々との交際を広げるよい機会なので特別の事情のない限り、招きに応じ、また招き返すのが礼儀である。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

義務教育は8年間、中等基礎教育(公立: Escuela、私立: Colegio)は2年間、高等学校教育(公立: Bachillerato、私立: Colegio)は4年間である。普通高校のほか、技術専門学校(Escuela Tecnica)、商業(実業)高校(Bachillerato Comercial)、各種技術専門学校(5年、Politecnico)、教員養成学校(Institute Superior de Docente)がある。

大学生は昼間働き、夜に受講するケースが圧倒的に多い。

(2) 日本人学校

文部科学省公認の日本人学校はない。

補習授業校があり、幼稚園から中学部までの生徒が在籍している。補習授業校は保護者で構成する補習校運営委員会が運営している。

校舎はサントドミンゴ日本語学校(ドミニカ日系人協会 日本語学校運営委員会)が運営している、日系人子弟対象の学校)を借用し、週2日(火・金曜日)、夕方に2時間実施している。詳細は以下に問い合わせるとよい。

< 海外子女教育振興財団 >

URL: <http://www.joes.or.jp/>

E-mail: service@joes.or.jp

受付時間: (月～金曜)9:30～17:30(祝日・年末年始を除く)

・東京

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL: 03-4330-1349

FAX: 03-4330-1355

・関西分室

住所: 〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200大阪駅前第一ビル2階

TEL: 06-6344-4318

FAX: 06-6344-4328

(3) 現地校、外国人学校

公立でも学区制がないため、評判のよい学校には生徒が集中する。公立、私立とも随時入学可能であるが、欠員がないと入れないことがある。どの学年でも落第がある。いずれの学校も新学期は9月から始まり6月に終わる。

ドミニカの法令に則ったカリキュラムで授業を行うインターナショナル・スクールもあり、卒業すれば大学入学資格が得られる。幼稚園から高校まで併設されている場合が多く、能力に応じて科目ごとに進級させるところもある。なお、これらの学校に通学するドミニカ人生徒は富裕層がほとんどである。また、夏季休暇時(6～8月)にサマースクールを開講したり、語学力不足の生徒を対象に補習授業を行っていたりするところもある。インターナショナル・スクールはほとんどの授業を英語で行っており、補習授業も英語である。バイリンガル・スクールの場合は英語・スペイン語で授業をしており、補習授業も英語とスペイン語である。

日本人の場合は、入学試験として知能指数テスト、英語、スペイン語、算数のテストがある。その後、父母との面接があり、テストの結果に基づいて教師と相談の上、学年を決めている。

学校により、1学年に入学するときには出生証明書(大使館が発行する)、編入するときには日本の修了証明書(大使館の翻訳付き)の提出を求められるところがある。

インターナショナル・スクール(幼稚園を含む)のなかには完璧な英語力を要求

するところもある。おおむね制服が指定されており、通学は親が自家用車で送迎するのが一般的である。入学金は初年度のみであるが、登録料は毎年必要である。授業料は学年により異なるが、年度中に分割して支払うことも可能である。

主な現地校、外国人学校などは次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

AMERICAN SCHOOL OF SANTO DOMINGO

Calle C #7, Cuesta Hermosa III
Ensanche Arroyo Hondo
Santo Domingo, República Dominicana
TEL (809) 567-6824 (809) 565-7946
FAX (809) 549-5841
E-mail info@assd.edu.do
E-mail registrar@assd.edu.do
<http://www.assd.edu.do>

AMERICAS BICULTURAL SCHOOL, THE (ABC SCHOOL)

Calle Fernando Valerio #2
Ensanche La Julia
Santo Domingo, República Dominicana
TEL (809) 535-3371
(809) 535-3376
FAX (809) 535-3342
E-mail info@abcschool.org
<http://www.abcschool.org>

AMERICAN CHRISTIAN SCHOOL

Calle 16 de Julio #127
Ensanche Bella Vista
Santo Domingo, República Dominicana
TEL (809) 535-8410 (809) 508-6822
FAX (809) 508-1956
E-mail americancdom@verizon.net.do

CAROL MORGAN SCHOOL OF SANTO DOMINGO

Ave. Sarasota esq. Ave. Núñez de Cáceres
Ensanche Bella Vista
Santo Domingo, Dominican Republic

TEL (809) 947-1000 (809) 947-1100
FAX (809) 533-9222 (809)947-1110
E-mail headmaster@cms.edu.do
E-mail rsanchez@cms.edu.do
<http://www.cms.edu.do>

COLEGIO BILINGÜE NEW HORIZONS

Calle Juan Miguel Román #2
Ensanche Bella Vista
Santo Domingo, Dominican Republic
TEL (809) 533-4915
FAX (809) 534-9171
E-mail c.troncoso@gcnewhorizons.net
<http://www.gcnewhorizons.net>

COLEGIO DOMINICO-AMERICANO

Ave. Abraham Lincoln #21
Santo Domingo, Dominican Republic
TEL (809) 535-0665 (809) 533-4191
FAX (809) 533-8809 (809) 533-8652
E-mail registro.cda@icda.edu.do
<http://www.icda.edu.do>

GEORGE WASHINGTON SCHOOL OF SANTO DOMINGO

Ave. Sarasota #102-A
Ensanche Bella Vista
Santo Domingo, Dominican Republic
TEL (809) 532-1279 (809) 533-8760
FAX (809) 533-2121
E-mail gws2000@verizon.net.do

INTERNATIONAL SCHOOL OF SANTO DOMINGO

Calle Gaspar Polanco #3
Ensanche Bella Vista
Santo Domingo, Dominican Republic
TEL (809) 533-9884 (809) 533-2012 (809) 533-2048
FAX (809) 532-9851
E-mail intl.school@verizon.net.do

<http://www.intlschool.com>

MC SCHOOL OF SANTO DOMINGO

Calle Pedro Albizu Campos #26
 Ensanche El Millón
 Santo Domingo, Dominican Republic
 TEL (809) 548-6620(809) 548-6661(809) 548-6662
 FAX (809) 548-6128
 E-mail mcschool@verizon.net.do
 E-mail yestrella08l@gmail.com
<http://www.mcschool.edu.do>

ST. GEORGE SCHOOL

Calle Porfirio Herrera #6
 Ensanche Piantini
 Santo Domingo, Dominican Republic
 TEL (809) 562-5262
 FAX (809) 562-5015
<http://www.stgeorge.edu.do>
<http://www.sms.edu.do>

SANTIAGO CHRISTIAN SCHOOL

Autopista Duarte Km. 5 1/2
 Sabaneta Las Palomas
 Santiago, Dominican Republic
 TEL (809) 570-6140 (809) 570-6141 (809) 570-6142
 FAX (809) 570-6145
 E-mail ed@scs.edu.do
<http://www.scs.edu.do>

(4) 幼稚園

私立幼稚園が多数あり、3～5歳児が通園している。1歳児から受け入れるところもある。また、6歳児対象の就学前教育(Pre-Primaria、1年)があり、公立、私立校がある。入学は随時可能である。

・Internacional School Pre-Escolar Tia Maria

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

文化広場(Plaza de Cultura)内に国立図書館がある(詳細はPart3イエローペ

ージを参照)。また、県庁所在地、そのほか文化クラブなどにもある。

 Yellow Page ・国立図書館

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

ドミニカ人の家庭では一般的に家政婦を雇用しており、運転手の雇用も時には見られる。庭師、ガードマンはアパートに住んでいる人が多いのでほとんど雇用していない。全般に賃金は値上がりの傾向にある。

15-2 運転手

(1) 雇用

できれば、人材派遣会社から雇うことが望ましいが、個人的に雇う場合、面接して実際に運転を見て採用する。健康診断は実施していない。

運転手には労働法が適用される。1日8時間労働分の給与に加え、超過勤務手当(時給の130%、200%)、年末手当(初年度は給与総額の12分の1、次年度からは12月給与と同額)、年次休暇(1年を経過した時点で2週間)および退職金を支払わなければならない。

できれば雇用契約書を作成するのが望ましいが、実際はほとんどが口頭契約である。賃金は利用時間帯などで交渉次第だが、およそ10,000～15,000Dペソである。試用期間は3カ月、解雇通知は文書で1カ月前に出す。個人雇用で社会保険、健康保険に加入している人はいない。

(2) 日常管理

官庁などでは車庫が少ないため、出退勤時に運転手に車を預けているが、自家用車の場合は自宅で保管し、毎回取りに来てもらうのがよい。

運転日誌を記録させることを勧める。その他、保守点検、洗車も義務づけること。

(3) 教育指導

運転マナーなど、気づいた時点でそのつど注意する必要がある。一般的に、ドミニカの運転マナーはあまりよくない。

(4) その他の留意点

ほとんど毎日接することになるため、関係がこじれないよう留意すること。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

日本人の家庭では1人を雇用し、掃除、洗濯、アイロンがけなどを依頼している。料理は手伝い程度か昼食の準備を任せていることが多い。

(2) 雇用

無難なのは、前任者から引き継いで雇用することである。人材派遣会社を利用

することもできる。しかしながら、ここ数年日本からの派遣者が増え、日本人家庭の経験者を順次引き継ぐだけでは間に合わない。その場合は、ガードマンや同じ建物で働いている使用人のツテで雇用することが多い。家主・配属機関のカウンターパートから紹介を受けるのも方法である。日系人を雇用することは難しい。いずれにしても、鍵を渡すことがあったり、留守番をさせたりすることがあるので、身元の確かな人を雇用することが最大のポイントである。

契約はほとんどが口頭契約で、勤務時間、仕事の内容、賃金を取り決める。身分証明書(Cedula)の提示を求め、コピーをとっておくのが望ましい。

通いと住み込みがあり、どちらも土曜日の午後と日曜・祝日は休暇である。

賃金の支払いには週給と月給とがあり、通いの場合は週末払いが多い。給与額は住み込みで家事一切を任せて月額6,000～8,000Dペソ程度。通いの場合、5,000～6,000ペソで交通費は別途支払う。住み込みより通いで雇用している人が多い。クリスマス時期には通常2倍の額を払ったり、プレゼントを渡したりし、ボーナスの代わりにする。退職金支給の制度はないが、一定期間雇用した場合には解雇時に月額の倍額程度を支払うのが一般的である。

(3) 日常管理

雇用主と使用人との立場を明確にすることが大切である。

大切なものはクローゼットや洋服ダンス、トランクに入れ、必ず鍵をかけて保管すべきである。万一紛失した時は、気づいた時点で徹底して原因究明すべきである。食料品や洗濯物など少額の物品が少しずつ紛失することもあるので、発見しやすいように目印をつけるなどの工夫が必要である。

15-4 庭師、ガードマン

一戸建ての場合は、庭師を月2～3回(1回400Dペソ程度)雇用する必要がある。料金は月ごと、または1回ごとに支払う。知人宅に出入りしている庭師に頼むとよい。

ガードマンは個人的に雇用するケースもあるが、信頼できる警備会社からの派遣が望ましい。しかし、個人住宅で雇用しているケースは少ない。アパートの場合は警備が管理費(共益費)に含まれている。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

サントドミンゴの日刊紙は、朝刊が、最大部数(8万8050部)の「Listin Diario」、「El Caribe」、「El Siglo」、「Hoy」、夕刊が「Ultima Hora」、「El Nacional de "Ahora"」、「La Noticia」である。サンティアゴには「La Informacion」、「Dia」がある。朝刊、夕刊とも交差点などで売られている。朝刊は宅配してくれる。いずれの日刊紙(15Dペソ)も定期購読契約が可能である。最近、「Diario Libre」という無料紙が発行さ

れている。

(2) 日本の日刊紙

個人で購読する場合は赴任前に申し込むか、ニューヨークのOCSに小切手を送付して申し込む。新聞はニューヨーク版(「朝日新聞」「日本経済新聞」)が数日遅れで到着する。しかし、空港、郵便局で滞る場合もあり3~4日分がまとめて届くことが多い。

日本のOCSの問い合わせ先はPart3イエローページを参照。

・海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス

(3) 欧米紙/誌

雑誌専門店で購入可能(Geyda 電話:809-566-4577)で、配達サービスはない。

「The New York Times」や「The Wall Street Journal」等の新聞や「Time」や「Newsweek」等の週刊誌も購入できる。これらの定期購読契約も可能。

(4) 日本の雑誌、書籍

日本の出版物を購入できる書店はない。OCSを利用する。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

ドミニカには31のAM、FM局がある。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

海外安全情報、日本語ニュース、地球ラジオ等は、下記のホームページにアクセスすることで無料で聴くことができます。

<http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radio/program/index.html>

< NHKワールド(海外向けサービス)に関する問い合わせ先 >

NHK国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から: +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10:00 ~ 18:00)

日本国内から: 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24時間受付)

問合せメール先: <http://www.nhk.or.jp>にアクセス

< 短波ラジオ周波数表、番組表 >

URL: <http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/index.html>

FAX: +81-3-5454-0888 情報番号260 (日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送: 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

イギリスBBC、アメリカVOA、スペイン国営放送、フランス国営放送などが聴取可能である。

ドミニカは難聴地域なので、国際放送を受信するためには前述のような注意が

必要である。その他時間帯、周波数帯も選ぶ必要がある。高性能の短波ラジオは高価で入手困難であるため、日本がアメリカなどで調達するとよい。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

国営放送局を含め43局ある。放送時間は局によって異なるが、6:00～24:00ごろである。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

ケーブルテレビ会社が数社あり、主にアメリカ・ヨーロッパの番組を放映している。これは別途契約する必要がある。申し込み先は次のとおり(受信料など、詳細はPart3イエローページを参照)。

日本人が主に利用しているのは下記のケーブル会社:

 Yellow Page ・Telecable

・Aster

< NHK海外放送 >

また、NHKを見るには、下記の方法がある。

代理店を経由: 日系移住者のJoji Araiさんに依頼し、専用機器を設置・購入(約3万5000Dペソ程度)する。月額使用料は約30米ドル。

ケーブル会社SKY (Tel:809-372-3111) : *200チャンネルが見られるUNIVERSEパックで契約し、月額1,889.00ペソを支払う(アンテナ設置費別)。

テレビ受信

放送方式はNTSC方式である。チャンネル周波数帯が異なるため、日本から受信機を持参しても一部の周波数しか受信できない。日本仕様のビデオデッキ内蔵のテレビチューナーも同様である。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ


日本人が利用するゴルフクラブには以下がある(詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・グアドベリー・カントリー・ゴルフクラブ
- ・メトロ・カントリー・ゴルフクラブ
- ・ラス・ラゲーナス・ゴルフクラブ

(2) テニス、フィットネス

テニス、フィットネスクラブには以下がある(詳細はPart3イエローページを参照)。

・Hotel Santo Domingo

 Yellow Page ・Body Shop

・Hotel Jaragua

(3) その他のスポーツ

該当情報なし

17-2 趣味

該当情報なし

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

公用語、現地語はともにスペイン語である。JICAボランティアが現地語学訓練に使う学校があるが、日本語を理解する教師はいない(連絡先はPart3イエローページを参照)。

・Dominico Americano文化専門学校

・ENTRENA語学学校

・CEIC 語学学校

(2) 家庭教師

家庭教師による語学学習は可能だが、最低でも日常会話程度の英語を理解することが前提である。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

特に規制はないが、ハイチ国境地域への旅行については、事前の安全確認が必要である。

国立公園が14カ所と自然保護地域が7カ所あり、ビーチリゾートだけでなく、山登り(最高峰Pico Duarte: 3175m)や川遊びもできるが、いずれも観光ポイントを車でめぐるのが一般的である。当国は高速道路(Autopista)が整備されているので、日帰りか1泊程度でも首都に戻ることができる。旅行に際しては、天気予報等の情報を事前確認し、特に雨季やハリケーンシーズンは十分注意が必要である。

18-2 主要観光地・保養地

(1) サントドミンゴ市内・近郊

観光産業が有力産業なためホテルなどは多数ある。料金はいずれも外国人大人。

< 旧市街(Zona Colonial) >

ユネスコ文化遺産に指定されているオサマ川沿いの石造りの建物が並ぶ地区。エル・コンデ通り(Calle El Conde)はサントドミンゴの銀座ともいえるところで、衣料品店を中心に各種店舗が並んでいる。見どころは、歴史的建造物で新大陸で

は初と名がつくものが多い。アタラサナス・レアル(Atarazanas Reales)博物館、コロンブスの息子Diegoの私邸アルカサル(Alcazar de Colón)、霊廟であるパンテオン(Panteon Nacional)、オサマ砦(Fortaleza Ozama)、コロンブスの像があるコロンブス公園(Parque Colon)、新大陸最初の大聖堂(Catedral Primada de América)、歴代提督の家で日本の甲冑もある王宮博物館(Museo de las Casas Reales / 火～日曜9:00～18:00、入場料20Dペソ)などで、歩いて回ることができる。

特にCalle las Damasはスペイン統治時代の面影を残した通りである。

<文化広場(Plaza de la Cultura)>

新市街にあり、公園の中にドミニカの有史以来の歴史がわかる人類博物館(Museo del Hombre Dominicano / 火～日曜:10:00～17:00、入場料20Dペソ)、近代美術館(Galeria de Arte Moderno / 火～日曜:9:00～17:00、入場料10Dペソ)、自然科学博物館(Museo Nacional de Historia Natural y Geografia / 火～日曜:9:30～17:00、入場料20Dペソ)、国立劇場(Teatro Nacional)、国立図書館(Biblioteca Nacional)が点在している。

<コロンブス灯台(Faro a Colon)>

新大陸発見500周年を記念して建設され、コロンブスの遺体もここに移された。内部は博物館で中南米諸国を中心に各国のパビリオンになっていて、日本の展示室もある。週末は夜間にライトアップされ、巨大な十字架が雲に投影される。

<三つ目池(Los Tres Ojos)>

コロンブス灯台の近くにあり、先住インディオが住んでいた鍾乳洞で中に3つの池がある。

<ボカ・チカ海岸(Boca Chica)>

サントドミンゴ市内より28km、車で1時間の近さもあって市民に人気がある。公衆海水浴場に隣接してホテルのプライベートビーチもある。なお、ホテル内のレストランを利用すれば宿泊しなくてもプライベートビーチを利用できる。

<ファン・ドリオ海岸>

公衆海水浴場のほか、いくつかのホテルリゾートがあり、ゴルフ場もある。

(2) 地方都市

<プエルト・プラタ>

大西洋岸に海水浴場、プール、ゴルフ場、テニスコート、乗馬施設などを備える大型リゾートホテルが立ち並び、観光のポイントはケーブルカー、琥珀の博物館、要塞、ソシアの海岸など。

<ラ・ロマーナ>

国内最大のCasa de Campo Hotelリゾートがあり、ポロ、クレー射撃もできる。野外劇場、土産物店、レストランを持つアルト川を見下ろす人工の街アルトス・デ・チャボンが知られる。東部国立公園に属するSaona島への観光もできる。

< サマナ >

風光明媚(特に湾とココナツ林)なことで知られる北東部に位置する半島。1~3月末まで“鯨”ウオッチングが楽しめる。近年注目を集め始めた、フランス・イタリア人観光客が特に多い地域である。

< ババロ、プンタ・カーナ海岸 >

東部海岸線に数十軒の大型リゾートホテルが立ち並ぶ。

< バラオナ >

海水浴が楽しめる(時期や場所によってはクラゲに注意が必要)。近くにはエンリキヨ湖(海拔マイナス40mの塩水湖)とポーロ山に行く途中に魔女の坂(下り坂が上り坂に見える)がある。

< Los Haitises 国立公園 >

サマナ湾にあり、サマナからボートを雇って珊瑚礁の山の周囲を湾側から見物する。マングローブ林、洞窟、奇怪岩、ペリカン、アメリカ軍艦鳥などが楽しめる。ツアーに参加するのが便利。

< Armando Bermudez国立公園(Pico Duarte) >

カリブ海諸島の最高峰Pico Duarteへの登山は、La Cienega村の国立公園事務所でガイドとロバを雇う。1泊または2泊の行程であるが、食料、懐中電灯、防寒着、寝袋などをすべて持参しなければならない。雨季は避けること。なお、ほかにEbano Verde、Valle Nuevoの保護地域を楽しむにはJarabacoaを経由して3日程度の行程となる。

< Isla Cabrito国立公園 >

Cabrito島はドミニカの南西に位置するEnriquillo湖にある島で、この海拔マイナス44mの塩湖には多数のワニが生息する。

島には2種類のイグアナと、フラミンゴがいて楽しめる。島に渡るボートはLa Descubiertaの公園事務所で予約する。島には何もないので飲み物を持参し、ワニが見られる朝夕に訪れるのがよく、BarahonaがLa Descubierta地区に宿泊したほうがよい。

< Jaragua国立公園 >

ドミニカの南西に位置する最大の国立公園で、Oviedo沼とBeata島からなり、乾燥した地域のためサボテンがあるが、沼にはフラミンゴをはじめ多数の鳥が生息して、バードウオッチングが楽しめるほか、イグアナやカメがいる。観光施設やガイドツアーはないが手つかずの自然が堪能できる。

18-3 旅行代理店

旅行代理店は多数あり千差万別なので、信用のあるところを選ぶべきである。関係者がよく利用する旅行代理店は、次のとおりである(詳細はPart3イエローページを参照)。

 Yellow Page ・Japan Travel

- ・Reidosa Travel
- ・Turinter

19. 私財の輸送、 引き取り、購入



Yellow Page

19-1 家財道具

(1) 輸送会社

発送や税関からの引き取りには、次の輸送会社がある(連絡先など、詳細はPart3イエローページを参照)。

- ・Multimodal Fright Solution(日通代理店)
- ・Aguila Cargo
- ・Teodulo Aquino
- ・La Flor de Mayo

(2) 輸入手続き

携行荷物以外の荷物を別送する方法として、a)郵便小包、b)アナカン(航空別送荷物)、c)貨物、国際宅配便がある。郵便小包と船便は市内の郵便局および港で、b)およびc)の航空便はラス・アメリカス国際空港で引き取る。

b)およびc)は航空便が到着すると、取り扱い航空会社より通知(郵便)がくる。ラス・アメリカス国際空港の航空会社の貨物取扱所で通関手続きを行い、税関検査を受けて引き取る。

船便の場合は、船積み後、船荷証券(B/L)が宅配便で送付されてくるので、これをもって通関手続きを行う。

なお、通関手続きは個人ではできないので、通関会社に依頼するのが賢明である。

(3) 輸入貨物の受け取り港

船便の引き取りは、サントドミンゴ港ないしハイナ港である。

19-2 自動車

(1) 一般状況

自動車はすべて輸入である。日本車が約77%のシェアを占めているが、日本国内で販売されているすべての車種があるわけではなく、軽自動車などの輸入台数は極端に少ない。

ロールスロイス、AMG、ランボルギーニなどの特殊な車を除き、世界中のメーカーのものがあり、欧米メーカーについては正規代理店が市内に点在する。

関税がかかるので価格は日本より高い。日本で左ハンドル車を購入し現地へ送ることは可能である(右ハンドルは運行不可)。車検制度はなく、見知らぬ相手(一般)からの購入および購入者が自動車についての知識が乏しい場合は、中古車の購入は勧められない。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 現地での購入

一般の場合、現地で自動車を購入することに特に問題はない。

(4) 自動車登録

税関で引き取った後、車両検査を受け、検査書を添付し、ナンバープレートの交付申請を行う。

ナンバープレートの種類には、官公庁、外交、領事、免税、自家用乗用車、バス、タクシー、貨物車、特殊車、二輪車がある。なお、課税購入した車が一般ナンバープレートの場合は1年に1回更新登録料の納付が必要(数千円程度)となる。

(5) 免許証取得

国際免許証を持参すればドミニカの免許証に切り替え可能である。日本の運転免許証からの切り替えも可能であるが、ドミニカ政府公認通訳による翻訳文を付して申請しなければならないなど、手間がかかるので、国際免許証を持参すること。

ドミニカで免許を取得するには、実地試験と筆記試験があり、スペイン語が堪能でない日本人が着任早々合格するのは非常に困難である。

申請から取得までは2～3週間を要する。有効期間は通常3年後の誕生日までである。免許証の更新は交通局で行う。国際免許証は発行日以降1年間に限り通用する。

(6) 保険、税金

自動車保険には強制保険と任意保険の2種類がある。任意保険にも加入することを勧める。保険金、車両価格、年式などにより異なるため、保険料を一概に算出することはできないが、車両の購入額の約5%程度が年額の保険代と概算すればよい。掛け金は高いが対人補償額は微々たるもので、事実上盗難や損害保険の色合いが濃い。従って、車体本体価格を低くすれば、保険料は安くなる。

加入申し込みは、保険会社あるいは代理店に電話をすれば、説明の後、申込書を作成してくれる。

20. 地方都市



< サンティアゴ >

人口60万人のドミニカ第2の都市。首都より車で2時間、160km。国際空港もあり、アメリカへの直行便も運航している。

首都に比べ標高が若干高く、暑さもしのぎやすい。暮らしやすい都市といわれている。

日本食材を購入できる店はあるが、鮮度に問題があるため、首都で購入するほうが安心である。その他の食料品、日用品などは首都と同様に不自由なく手

に入る。



サンティアゴの主なタクシー、ホテル、スーパーマーケット、ホームセンター、ショッピングセンター、レストランには次のものがある

(詳細はPart3イエローページを参照)。

< タクシー >

- ・Tecni Taxi
- ・Taxi Monumental

< ホテル >

- ・Hodelpa Centro Plaza
- ・Hotel Aloha Sol
- ・Camp David Ranch

< スーパーマーケット >

- ・Nacional
- ・Pola およびLa Sirena

< ホームセンター >

- ・Ferreteria Hache
- ・Ferreteria Ochoa

< ショッピングセンター >

- ・Plaza Texas
- ・Plaza Lama
- ・Plaza Internacional
- ・Bella Terra Mall

< レストラン >

- ・Pez Dorado
- ・Camp Davis Ranch

Part 3 イエローページ

*特に記載のない限り、ドミニカ共和国事務所のあるサントドミンゴの情報を中心にしています。

1. JICA 事務所 (ドミニカ共和国事務所)

所在地	Avenida Sarasota No.20, Torre Empresarial AIRD, 7mo. Piso, La Julia, Santo Domingo, República Dominicana
TEL/FAX	TEL: 809-381-0005 (代表) (国外からは国番号1をダイヤル) FAX: 809-381-0048
URL	URL: http://www.iicadn.org

2. 日本大使館

所在地	Av. Winston Churchill No. 1099, Esq. Andres Julio Aybar Torre Citigroup Acrópolis Center
TEL/FAX	TEL: 809-567-3365 (国外からは国番号1をダイヤル) FAX: 809-566-8013
URL	URL: http://www.do.emb-japan.go.jp/index.htm

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 809-567-3365
警察	TEL: 119
緊急全般 (火事、救急車)	TEL: 911

4. ホテル *料金などは季節などでも変わる (税:消費税16%, サ:サービス料10%)。

<ホテル>

■Hotel Santo Domingo	Av. Independencia esq. Abraham Lincoln
	TEL: 809-221-1511 FAX: 809-534-5584
	料金: シングル・ツインともに134米ドル (税サ・朝食込み)。
	E-mail: res@hsd.com.do
	URL: www.hotelsantodomingo.com.do
■Hotel Hispaniola	Av. Independencia esq. Abraham Lincoln
	TEL: 809-221-7111 / 809-535-0876
	料金: シングル88米ドル ~ (税サ・朝食込み)。
■Hotel Embajador	Av. Sarasota Casi Esq. Ave. Winston Churchill
	TEL: 809-221-2131 FAX: 809-532-5306
	料金: シングル151.2米ドル ~ (税サ・朝食込み)
	URL: www.es.occidentalhotels.com
	E-mail: ohrd.embajador@codetel.net.do
■Hotel Clarion	Ave. Tiradentes, Ensanche Naco
	TEL: 809-541-6226 FAX: 809-549-7743
	料金: シングル99.54米ドル ~ (税サ・朝食込み)
	E-mail: Res@carionsantodomingo.do
	URL: clarionsantodomingo.com.do
■Hotel BQ Santo Domingo (Hotel Delta)	Ave. Sarasota 53
	TEL: 809-535-0800 FAX: 809-535-9722
	料金: シングル(standar94.5米ドル, superior107.1米ドル ~) (税サ込み、朝食付)。
	E-mail: hoteldelta@codetel.net.do / nsanchez@bqsantodomingo.com
	URL: www.bqsantodomingo.dom.do
■Renaissance Jaragua	Ave. George Washington 367
	TEL: 809-221-2222

<アパートメントホテル>

■Florida Suites	Ave. Bolivar 203 (entre Lincon y Tiradentes)
	TEL: (809) 541-3957
	料金: シングル(standar118米ドル ~, Doble142米ドル ~) (税サ込み、朝食付)。
■Apart-Hotel Atalava C/Elila Mena esq. Fernando Valerio	La Julia
	TEL: 809-534-6565 FAX: 809-533-3745
	料金: 一泊1,700ペソ ~ (税込み、朝食なし)
■Residencial Alvear	C/La Arboleda No.6, Ensanche Naco
	TEL: 809-412-2809 FAX: 809-616-2070
	料金: 一泊2,200ペソ ~ (税込み、朝食なし)

5. クリーニング

■Lavandería New York

Av. Lincon 156
TEL: 809-532-5252

■Lavaseco

● Av. Lope de Vega No.39
TEL: 809-562-4560
● Av. Independencia 208
TEL: 809-532-6955

■Press to

● Av. Wiston Churchill
TEL: 809-472-7575
Av. Sarasota
TEL: 809-532-9574

■Roval lavandería

Av. J.A.A. Castellanos.
TEL: 809-732-0505

6. 美容院

■Mi Salon (日高美容院)

Av. Bolivar 255. Gazcue
TEL: 809-238-5164, 809-238-5182

■Pelqueria Japonesa (広光美容院: 予約制)

Calle 2-A #9. Apto.302. Residencial Melissa II. Mirador Norte
TEL: 809-482-8364

■JAG Peluquero

Av. 27 de Febrero (PLAZA CENTRAL 2階奥)
TEL: 809-567-0558, 809-567-9098

■Salón de Belleza Llongueras Internacional

P de Los Locutores 16
TEL: 809-566-8704

■Salón de Belleza Hermanos Dueñas

P de Los Locutores. esq. Manuel de Jesús Troncoso
TEL: 809-565-7775

7. レストラン

<イタリア料理>

■Vesuvio I Av. George Washington 521. esq. San Geronimo

TEL: 809-221-1954
URL: <http://www.restaurantvesuvio.com>
Vesuvio II Av. Tiradente 17 Naco.
Tel: 809-562-6060

■La Briciola Arzobispo Merino 152-A. esq. Padre Billini

TEL: 809-688-5055
E-mail: labriciola@codetel.com.do
URL: <http://www.labriciola.com.do>
旧市街地にありコロニアル調の中庭が特徴。

■Cappuccino Av. Máximo Gómez 60

TEL: 809-682-8006
おしゃれな雰囲気と美味しいイタリアンが楽しみ、イタリアンワインやデザートも豊富。

■Punto Italia Av. Avenida Abraham Lincoln 124

TEL: 809-412-0902
値段、雰囲気ともに気軽にイタリアンが楽しめる。となりに食材店有り。

<インターナショナル>

■Meson de la Cava Av. Mirador del Sur No.1

TEL: 809-533-2818
E-mail: mesondelacava@gmail.com
URL: www.elmesondelacava.com
地下の洞くつを利用したレストラン。観光客の団体予約が入ることがあり、事前予約をした方が良い。

■Taboo Bamboo Av/ Roberto Pastoriza 313 Plaza Uris. Piantini

TEL: 809-227-2727

エキゾチックな雰囲気で美味しい創作料理が楽しめる。
 ■Sherezada Av. Roberto Pastriza 226. Naco
 TEL: 809-227-2323
 昼のエグゼクティブ・ブュフェはお得。(午後12時から3時まで)

< スペイン料理 >

■Boa Boa Av. Bolivar 203. Plaza Florida
 TEL: 809-688-9644 / 809-221-8214
 止り木コーナーとディナー部屋に分かれている。帆船の雰囲気。

■Museo del Jamón
 Av. Atarazana 17, Plaza de España, Zona Colonial
 TEL: 809-688-9644 / 809-221-8214
 生ハムとパエージャが人気。ライト・アップされたコロンプスの館を眺めながら、フラメンコショーが楽しめる。

■Reina de España
 Calle Cervantes 103. esq. Santiago
 TEL: 809-685-2588
 料理コンクールでも賞をとった創作料理が味わえる。

■Mesón Cienfuegos Calle El Embaiador. Plaza Jardines del Embaiador
 TEL: 809-532-1765
 落ち着いた雰囲気のディナー部屋と各種ワインを楽しめるラウンジがある。

< ステーキ >

■David Crockett
 Gustavo Meia Ricart 34. esq. Alberto Larancuent
 TEL: 809-565-8898 / 809-547-2999
 パリジャーダ(網焼き)でいろいろな種類の肉が楽しめる。

■Outback Steakhouse
 Av. Winston Churchill esquina Rafael Augusto Sánchez. Plaza Acrópolis
 TEL: 809-566-5550 Fax 809-472-5550
 E-mail: info@outback.com.do
 リプロースステーキとチズケキがお勧め。

■Frv & Grill Av. 27 de febrero No. 579
 TEL: 809-565-2717
 チュラスコが人気。

■Tony's Roma Av. Sarasota 29
 Tel: 809-535-5454
 スペアリブとテキーラのカクテルはお勧め。

< ドミニカ料理 >

■El Conuco Calle Casimiro de Moya 152. esq. José Joaquín Pérez
 TEL: 809-686-0129
 URL: http://www.elconuco.com.do
 ドミニカの家料理、音楽、メレンゲショーが楽しめる。

■Adrian Tropical Av. George Washington
 TEL: 809-221-1764
 Av. 27 de febrero No. 429 Esq. Núñez de Cáceres, Quisquealla.
 Tel: 809-472-1763
 URL: http://www.elconuco.com.do
 カリブの海を眺めながら、本場のドミニカ料理を楽しむ。モフォンゴとサンコーチョが人気メニュー。

< 中国料理 >

■Chino de Mariscos(中国海鮮楼)
 Av. Sarasota 38-a. esq. Francisco Moreno
 TEL: 809-533-5249
 日曜は飲茶も楽しめる。値段良し、味良し。Chofan Fu-chao は具沢山で、味も良いのでお勧め。

■Pan Oliva Av. Sarasota
 TEL: 809-533-7380
 日本人にはうなぎ、パーコー麺、カレーライスが人気。

■Palacio de Jade
 Calle Jose Maria Heredia 6. Gazcue
 TEL: 809-686-3226

日曜日の飲茶は人気。2階にはカラオケがある。中世のお城のような外観で中の造りも豪華。

■Bella Cristal Av. Roberto Pastriza 458, Piantini
TEL: 809-540-2923

土日はドミニカ人で込み合う。個室(大・小)があり、会議やパーティーにも活用できる。

■ParaTe Jardín del Descanso

C/ Carmen Celia de Baklaguer Esq. Acueducto Rurales, El Millón I.
TEL: 809-476-9932

様々なおいしいお茶、お菓子、楽しめる。

< 韓国料理 >

■Restaurante Seoul

Ramón Franco Bido 44
TEL: 809-532-7854

(火～日曜)9:00～22:00

持ち帰りできる。チヂミや石焼ビビンバがお勧め。日本そばが食べられる。

■Restaurante Coreano Magna

Calle 12 de Julio #7, Bella Vista
TEL: 809-535-5533

< 日本料理 >

■Samurai Calle Seminario No.57, Ens. Piantini
TEL: 809-565-1621

E-mail: samurai57@hotmail.com

URL: samurairestaurante.com

ドミニカでは日本料理店の老舗。政界人も多く利用している。値段はやや高め。

■Aka Sushi Bar Lope de Vega, Max Henrique Ureña

TEL: 809-732-9502 Fax: 809-476-0886

E-mail: info@red.com.do

< シーフード >

■Sully Charles Summer No. 19, Los Prados
TEL: 809-562-3389

8. スーパーマーケット、食料品店

< スーパーマーケット >

■Nacional

● 27 de febrero y Ave. Lincon

TEL: 809-537-5017

● Lopez de Vega

Tel: 809-227-2144

● Av. Luperon, Esq. Gustavo Mejia Ricart.

Tel: 809-537-5017

8:00～22:00

2階は家庭用品・家具店。隣には本屋、文房具店などもある。ほかに Lope de Vega 店(ゆったりしていて種類も豊富)。水曜日は野菜が割安。

■Pola

●Sarasota 店 Sarasota #66

TEL: 809-532-9574

●Lope de Vega 店 Lope de Vega #46

TEL: 809-566-8647

●Multicentro 店 Winston Churchill esq. Angeles.

TEL: 809-472-4444

URL: www.superpola.com

(月～土曜) 8:00～22:00、(日曜 & 休日) 9:00～15:00

■Plaza Lama Ave. 27 de Febrero v Av. Winston Churchill

TEL: 809-533-4848

(月～土曜) 8:00～22:00、(日曜) 9:00～20:00

電化製品から食料品まで扱う大型スーパー。年中無休。

■Carrefour	Km 10 1/2.Autopista Duarte TEL:809-412-2333 8:30~22:00 フランス資本の郊外型大型スーパー。
■Las Estrellas	Av. Romulo Betancourt 291 TEL:809-532-7400 Fax: 809-535-2590 8:00~20:00 中国系の経営。春雨などの乾物、日本製インスタントラーメンがある。
■Bravo	Ave. Winston Churchill, esq. Viriato Fiallo TEL:809-748-0266 E-mail: super.bravo@codetel.net.do 8:00~23:00
■Pricesmart	Av. Ch Summer 54 TEL:809-334-3434 E-mail: pricesmart@codetel.net.do URL:www.pricesmart.com 米国系列の大型卸売スーパー。会員制。(登録料:US\$30.00程度)
■JUMBO	Av. Gustavo Meija Ricarto esq. Luperon TEL:809-333-2111 (月~土曜)9:00~22:00、(日曜)9:00~20:00 最大規模のスーパー。小型遊園地とフードコートがあり、土日は家族連れで賑やか。年中無休。
<精肉>	
■Gourmet Demetrio	Calle Víctor Garrido Puello 137, Evaristo Morales TEL:809-563-8729, 563-8777 (月~土曜)10:00~20:30、(日曜)10:00~13:30 高級輸入食料品店。骨なし鶏肉、輸入チーズ、ワイン。
■Nello's	Dr. Luis F. Thomen 165 TEL:809-565-7217 (月~土曜)8:30~21:00、(日曜)9:00~14:00 イタリア系の経営。豚肉の各部位を入手できる。すき焼き、焼肉用の薄切りも可能。
■Punto Italia	Dario Contreras esq. Abraham Lincon TEL:(809) 532-3889 イタリア系の経営。レストランの中にある。肉のチーズ包揚げやトンカツ用豚肉は人気。
<鮮魚>	
■Pescavama	Calle Seminario No.57, Ens. Piantini TEL:809-565-1621 (月~金曜)10:00~20:00 (土曜)10:00-19:00 刺身、切り身などが少量パックで購入できる。
<パン、ケーキ>	
■France Croissant	●Sarasota 店 Ave. Sarasota esq. Fernando Defillo TEL:809-532-7082 7:30~21:00 ●Naco 店 Av. Padre Fantino Falco TEL:809-565-1527 7:30~21:00 ●Croissant Dole 店 Av. Enriqueillo TEL:809-482-1271 7:30~21:00
■Alfa Panaderia Repostería	Av. Lincon 112, Próximo Calle Marien TEL:809-533-1319 (月~金曜)8:00~20:30、(土曜)8:00~18:30 中国系の経営。日本風の菓子パン(8~12Dペリ)がある。
■La Baquette	Av. Gustavo M. Ricart TEL:809-565-6432 (月~土曜)8:30~20:00、(日曜)8:30~15:00

■Lulin(旧 AMUSIN)

Av. Nuñez de Cáceres #597

TEL: 809-227-6936

(月～金曜)7:00～19:00、(土曜)7:00～14:00

■Repastería Sakura

Av. Romulo Betancourt #2064-C. Frente del Centro Medico Real

TEL: 809-482-1110

(月～金曜)7:00～19:00、(土曜)7:00～14:00

■Panavi

Av. Gustavo Meija Ricardo 114

TEL: 809-683-6007

■Pastelería del Jardín

Av. Polibio Díaz 21. Evaristo Morales

TEL: 809-566-4243

■Elysee

Av. Manuel de Jesús Troncoso 23 Piantini

TEL: 809-566-6600

< 日本食品 >

■東光(Asiatico) Av. 27 de Febrero 513

TEL: 809-530-6302 FAX: +1-809-530-8401

中国野菜、米をはじめ品揃えが豊富。

■華興貿易公司(Wah Hing Trading)

Calle Benito Gonzalez No.71. Villa Francisca

TEL: 809-221-1661

E-mail: wahhingtrading@codetel.net.do

冷凍点心、乾麺、米、味噌など。

9. 食器、調理器具

■Casa Cuesta Centro del Hogar

Centro Comercial Nacional, Ave. 27 de Febrero Esq. Abraham Lincon.

TEL: 809732-1348 Fax: 809-565-5452

URL: www.CasaCuesta.com

(月～土曜)9:00～21:00、(日曜&休日)10:00～15:00

大手の生活用品店。Plaza Naco 店、Plaza Central 店、Centro Comercial Bella Vista Mall 店がある。

■Ferretería HACHE

● Av. Kennedy

TEL: 809-566-1111 Fax: 809-732-7998

● Av. Independencia Km 7 1/2

TEL: 809-532-1111 Fax: 809-732-7998

URL: www.hache.com.do

(月～土曜)、7:30～19:30、(日曜)9:00～15:00、(休日)7:30～17:00。

幅広い品揃えで売り場が広く、家具も販売。他に、Av. Duarte Km 71/2 Los Prados、Carretera Mella Km 81/2 にもある。

■Departamento Ferretería AMERICANA

Av. Kennedy

TEL: 809-549-7777

URL: www.americana.com.do

(月～土曜)8:00～20:00、(日曜)9:30～16:30

高級食器から日用雑貨まで広い品揃え。

10. 家電製品

■Casa Cuesta Centro del Hogar

「9. 食器、調理器具」の項を参照。

■Plaza Lama Av. 27 de Febrero v Av. Winston Churchill

TEL: 809-533-4848

E-mail: pedidosweb@plazalama.com

(月～土曜)8:00～22:00、(日曜)9:00～20:00

電化製品から食料品まで各種を扱うデパート。年中無休。

- Carrefour Km 10 1/2 Autopista Duarte
TEL: 809-372-1234
8:30 ~ 22:00
フランス資本の郊外型大型スーパー。

11. 家具

- La Nacional Av. Duarte 172 v Hnos. Pinzon #57
Tel: 809-536-8485

12. 日用品、雑貨

- Cuesta Centro del Hogar
「9. 食器、調理器具」の項を参照。

13. 工具、素材

- Ferreteria HACHE
「9. 食器、調理器具」の項を参照。

- Departamento Ferreteria AMERICANA
「9. 食器、調理器具」の項を参照。

- IKEA Av. J. F. Kennedy
Tel: 809-567-4532
E-mail: telepedidos.sdq@ikea.com.do
URL: www.ikea.com.do
(月～金曜) 8:00 ~ 22:00、(日曜) 9:00 ~ 20:00

- Almacenes Unidos
Av. John F. Kennedy Esq. Prol. Av. Winston Churchill
Tel: 809-472-6911

14. 銀行

- Banco Popular
Av. John F. Kennedy 20 TEL: 809-544-8000 FAX: 809-544-5920
Tel (問い合わせ(故障、料金確認など): 809-544-5555
E-mail: contactenos@bpd.com.do
URL: http://www.bpd.com.do
国内最大手でスーパー内に支店が多く便利。

- BanReservas
Av. Winston Churchill esq. Porfirio Herrera
TEL: 809-960-4000 FAX: 809-547-5456
URL: www.banreservas.com.do
(月～金曜) 8:00 ~ 17:00、(土曜) 9:00 ~ 13:00
ショッピングセンターやスーパー内に支店が多く便利。Ave. 27 de Febrero にもあります。

- Banco BHD
Plaza BHD. Ave. Winston Churchill esq. Ave. 27 de Febrero
TEL: 809-243-3232 FAX: 541-4949
URL: http://www.bpd.com.do

- Citibank Av. John F. Kennedy
TEL: 809-566-5611 FAX: 809-567-2843
URL: www.citibank.com.do

- Scotia Bank
 - Av. 27 de Febrero esq. Winston Churchill
TEL: 809-545-8000
(月～金曜) 8:30 ~ 16:30、(土曜) 9:00 ~ 13:00
 - Av. Winston Churchill, Torre Acrópolis
TEL: 809-732-4444
(月～金曜) 9:00 ~ 17:00、(土曜) 9:00 ~ 13:00

15. 両替商

- Agente de Cambio Quisqueyana
Av. Sarasota 20 esq. Ave. A. Lincoln. Torre Empresarial AIRD. 9 mo piso
TEL: 809-565-6191 (月～金曜) 9:00 ~ 17:00
JICA 事務所のあるビル9階。

16. レンタカー

■AVIS Av. Abraham Lincoln esq. Sarasota (JICA 事務所前)

TEL: 809-535-7191 FAX: 809-535-1747

URL: <http://www.avis.com>

■Budget Av. John F. Kennedy esq. Av. Lope de Vega

TEL: 809-566-6666 FAX: 809-567-0177

URL: www.hondarentcar.comE-mail: reservaciones@budgetrd.com

■Hertz Jose Maria Heredia #1

TEL: 809-221-5333 FAX: 809-221-8927

URL: www.hertz.com

■Honda Av. John F. Kennedy esq. Ave. Pepillo Salcedo

TEL: 809-567-1015 FAX: 809-541-0039

E-mail: hondarentcar@codetel.net.doURL: www.hondarentcar.com

17. 自動車修理工場

■Autoservicio Japonés

Calle Francisco Prats-Ramírez 228 Ensanche Evaristo Morales

TEL: 809-566-5375, 809-562-4077

土曜日は午前のみ営業。

■Centro Técnico Japonés

Dr. Defillo 60. Ensanche Quisqueva

TEL: 809-567-8879 / 809-683-2627

土曜日は午前のみ営業。

■Fukuoka Motors

Calle M Ruíz 96

TEL: 809-681-0705 FAX: 809-538-9306

18. 電話会社

■CODETEL Claro

問い合わせ (故障、料金確認など)

TEL: 809-220-1111 (フリーダイヤル)

番号案内サービス

TEL: 1411

時報と気温 (現在の気温)

TEL: 809-568-2222

URL: www.dominicoamericano.edu.do

19. 教育機関

< 現地校、外国人学校 >

■ABC School (The Americas Bicultural School)

Calle Fernando Valerio 2

TEL: 809-535-3354/3371/3376 FAX: 809-535-3342

使用言語: 英語、スペイン語

25年以上の歴史をもつ。幼稚園 (2歳~) から高校まで。

■Colegio Dominicano Americano

Ave. Abraham Lincoln

TEL: 809-535-0665 内線245

E-mail: colegio@icda.edu.do

使用言語: 英語、スペイン語。幼稚園~高校。

■George Washington School

Av. Sarasota 100 v 102.

TEL: 809-532-1279 / 809-535-6019 FAX: 809-532-2121

使用言語: 英語、スペイン語。幼稚園~高校。

■Saint George School

Calle Porfirio Herrera No.6 Ens. Piantini

TEL: 809-562-5262 Fax 809-562-5015

E-mail: info@stgeorge.edu.do

使用言語: 英語、スペイン語。

1965年設立。幼稚園~高校。

■The Carol Morgan School Santo Domingo

Av. Sarasota esq. Nuñez de Caceres

TEL: 809-947-1005 / 809-537-8080 Fax: 809-562-5015

TEL (Central Operator): 809-947-1000

E-mail: webmaster@cms.edu.do

URL: www.cms.edu.do

使用言語: 英語。

歴史は60年以上、幼稚園～高校。編入試験はあるが、高1～高3の編入は空席が少ない。授業方式はアメリカ式で学校行事もアメリカの習慣による。課外活動としてサッカー、野球、バレエ、バスケットボール、コンピューター、美術、音楽など。

■New Horizon Av. Sarasota #51, Bella Vista

TEL: 809-533-4915 FAX: 809-534-9171

E-mail: info@qcnewhorizons.net

URL: http://www.qcnewhorizons.net/

1977年設立。英語スペイン語のバイリンガル校。幼稚園～高校。

■International School of Santo Domingo

C/Penetración No.13, Cerros de Arrovo Hondo

TEL: 809-533-9884/809-533-2048

E-mail: intl.school@verizon.net.do

URL: http://www.intlschool.com

< 幼稚園 >

■Internacional School Pre-Escolar Tía Maria

Av. Gaspar Polanco#3 Bella Vista

TEL: 809-533-9884

使用言語: スペイン語。

20. 図書館

■国立図書館

● Pedro Enríquez Ureña, Plaza de la cultura

TEL: 809-732-3132

● Universidad Nacional Pedro Henríquez Ureña (UNPHU), Av. John F. Kennedy Km. 6 1/2.

Tel: 809-562-6601

● Universidad Autónoma de Santo Domingo (UASD)

G Sosa 52, Neiba

Tel: 809-527-3281

21. 日本の新聞、出版物の購読

< 日本の新聞、出版物の購読 >

■海外新聞普及(株)(OCS)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13

TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091

URL: http://www.ocs.co.jp/

E-mail: subs@ocs.co.jp

■DHL ディー・エイチ・エル・グローバルメール・ジャパン(株)

〒140-0002 東京都品川区東品川 1-37-8

Fax: 813-5479-5847

E-mail: japan.sales@dhl-globalmail.com

URL: www.dhl.co.jp

22. ケーブルテレビ

■Telecable

TEL: 809-476-6042

料金: 設置料—Dペソ、受信料(月極め720Dペソ～、年間一括20%OFF)

料金は、プランの選択による(番組数やインターネットの速さによる)。

URL: www.telecable.es/

番組ガイドブックには英語(1週間分)とスペイン語(1カ月分)がある。

■Aster

TEL: 809-596-1000

URL: www.aster.com.do

料金: 設置料850ペソ～、受信料(毎月850ペソ)

99局ほど受信できる。

料金は、プランの選択による(番組数やインターネットの速さによる)。

-
- Sky TV TEL: 809-560-9842, 809-372-3111
 料金: 受信料(月額料金 RDS\$1,888.75)
 料金は、プランの選択による(番組数による)。NHK プレミアムが見られる UNIVERSAL がお勧め。
 URL: http://www.sky.com.mx/nosusc/int/rep_dominicana
-

23. スポーツ施設

< ゴルフ >

-
- メトロ・カントリー・ゴルフクラブ Metro Country Golf Club
 ファン・ドリオ
 TEL: 809-526-3315
-
- ラス・ラグーナ・ゴルフクラブ Las Lagunas Golf Club
 サント・ドミンゴ
 TEL: 809-473-0551/ 809-372-7441/7442/7443 Fax: 809-372-7446
-
- グアドベリー・カントリー・ゴルフクラブ Guavaberry Golf Country Club
 サント・ドミンゴ
 Tel: (809) 333-4653 / Fax: (809) 333-3030 Email: quavaberrygolf@codetel.net.do
-

< テニス、フィットネスクラブ >

-
- Bodv Shop Calle Fantino Falcon #42
 TEL: 809-549-6620
 E-mail: g.shop@codetel.net.do
 URL: www.clubbodyshop.com
-
- Renaissance Jaragua Hotel & Casino
 Av. George Washington 367
 TEL: 809-221-2222
 E-mail: sales@renaissancejaragua.net.do
 URL: <http://www.renaissancehotels.com>
-
- Hotel Santo Domingo
 TEL: 809-221-7111
 グループ会員になると年間利用料がお得。テニス、スイミング、ジム等がある。(マッサージは別料金)。
-

24. 語学学校

-
- ENTRENA 語学学校
 Calle Virgilio Díaz Ordoñez No. 42, Ensanche Julieta
 TEL: 809-567-8990 Fax: 809-566-3492
 E-mail: info@entrenadr.com
 URL: entrenadr.com
-
- CEIC 語学学校 Autopista Duarte Km.9, Urb. Villa Marina, Calle 1ra. No.7
 TEL: 809-560-4136 Fax: 809-560-4136
 URL: www.ceic-spanis-school.com
-

25. 旅行代理店

-
- Japan Travel
 Av. San Martin No.71
 TEL: 809-688-4200 FAX: 809-687-1940
 E-mail: japanyravels@codetel.net.do
 (月～金曜) 9:30～13:00、(土曜) 15:00～17:00
 日本人経営、日本語可。
-
- Reidosa Travel
 C/Manuel de Jesús Troncoso #16B, esq. Calle 6, Urb. Paraiso
 TEL: 809-541-9888 FAX: 809-565-0531
 E-mail: reidosa@codetel.net.do
 URL: reidosatravel.com
 9:00～17:30
 スペイン語、英語。
-
- Turinter L'alianxa
 Leopoldo Navarro #4, Gazcue
 Tel: 809-338 4700 EXT 6001/6002/ 6009
 E-mail: turinter.ltn@gmail.com
-

26. 輸送会社

■Teodulo Aquino

34 No. 116 V. Agricola
TEL: 809-536-4041 Fax: 809-536-6717

発送

■La Flor de Mayo Express

TEL: 809-685-3620
URL: www.laflordemayoexp.com

発送

■Aquila Carqo TEL: 809-689-7473 Fax: 809-686-8049

通関手続き、税関からの引き取り等。

■Multimodal Freight Solutions Dominicana, S.A. TEL: 809-563-3618 Fax: 809-683-1596

日通代理店。
Oloff Palme No. 46, Edif. Xemal I, Suite 202, Los Prados, Santo Domingo, República Dominicana
http://www.multimodal.com.do/

27. サンティアゴ情報

<タクシー & バスセンター>

■Taxi Monumental TEL: 809-581-0002/0690

■Emi Taxi TEL: 809-241-3000

■Tecní Taxi TEL: 809-971-8181, 583-4515

■バスセンター Av. Salvador Estrella Sadhala & Av. 27 de Febrero

タクシー代は、約120ペソ。バスセンターでは、Caribe Tour, Metro, など。

<ホテル>

■HODELPA Centro Plaza

Calle Mella 54, Santiago
TEL: 809-581-7000
料金: 119.7米ドル~(朝食付)
E-mail: reservascplaza@hodelpa.com
URL: www.hodelpa.com

■Hotel Aloha sol

Calle del Sol 50
TEL: +1-809-583-0090
料金: 1899米ペソ~(朝食付)

■Hodelpa Gran Almirante

Av. Estrella Sadhala 10.
TEL: 809-580-1992 Fax: 809-241-1492
URL: www.hodelpa.com
料金: 170.1米ドル~((税サ・朝食込み))

<スーパーマーケット>

■Nacional Av. Estrella Sadhala esq. 27 de Febrero
TEL: 809-226-8080

■Pola および La Sirena

Av. Bartolome Colon
TEL: 809-247-4447

■Pricesmart Av. Estrella Sadhala.
TEL: 809-247-4447
E-mail: pricesmart@codetel.net.do
URL: www.pricesmart.com

<ホームセンター>

■Ferretería Hache

Av. Estrella Sadhalad Av. Salvador E. Sadha
TEL: 809-971-1111 Fax: 809-587-3430
URL: hache.com.do
(月~土曜)7:30~19:00、(日曜)9:00~14:00

■Ferretería Ochoa

Av. Estrella Sadhalad

 TEL: 809-971-8000 Fax: 809-575-4881

 E-mail: yahvemorel@ochoa.com.do

 URL: www.ochoa.com.do

 <ショッピングセンター>

 ■Plaza Texas Av. Bartolomé Colon 70
 TEL: 809-612-4530

 ■Plaza Lama Calle del Sol No.1
 TEL: 809-276-5262

 URL: www.plazalama.com

 ■Plaza Internacional Av. Juan Pablo Duarte.

 ■Plaza Zona Rosa Av. Juan Pablo Duarte Esq. José M. Serra.

 ■Plaza Bella Terra Mall Av. Juan Pablo Duarte 1

 <レストラン>

 ■Pez Dorado Calle del Sol 42
 TEL: 809-582-2518/4051
 中国料理、洋食

 ■Camp Davis Ranch
 Carretera Luperon Km 7
 TEL: 809-583-5230, 223-0666
 ステーキ

 ■Kukara Macara
 Francia 7 (Area Monumental)
 Tel: 809-241-3143

 ■Montezuma bar & Grill (restaurant) (Area Monumental)
 Prol. Av. Francias
 Tel: 809-581-1111
 E-mail: montezumam@hotmail.com

 ■ La Puerta del Sol
 Calle del Sol No. 23 Esq. Daniel Espinal (Area Monumental)
 Tel: 809-947-1414
 11:00am ~ 12:00am. (金、土曜) hasta las 2:00am.

 ■Marisco Center
 Av. Del Sol 3
 Tel: 809-971-9710
 貝類料理が独特、値段はやや高め。

 .教育機関

 <現地校、外国人学校>

 ■Colegio La Salle
 Av. Juan Pablo Duarte 88
 TEL: 809-582-4666
 使用言語: スペイン語(英語)
 URL: www.lasalle.edu.do

 ■Colegio Sacrado Corazon de Jesus
 TEL: 809-583-5909
 E-mail: colegiojuanxxiii@pucmmsti.edu.do
 URL: www.pucmmsti.edu.do

 ■Colegio Juan xxiii
 Aut. Pista Duarte Km 1 1/2
 Tel: 809-583-5909
 E-mail: colegiojuanxxiii@pucmmsti.edu.do
 URL: www.pucmmsti.edu.do
